

平成27年度 第8回

三重県伊勢志摩サミット推進本部会議

事項書

日時 平成27年12月24日(木)

13:20~13:40

場所 プレゼンテーションルーム

1 各委員会、各部局からの報告

2 伊勢志摩サミット推進局からの報告

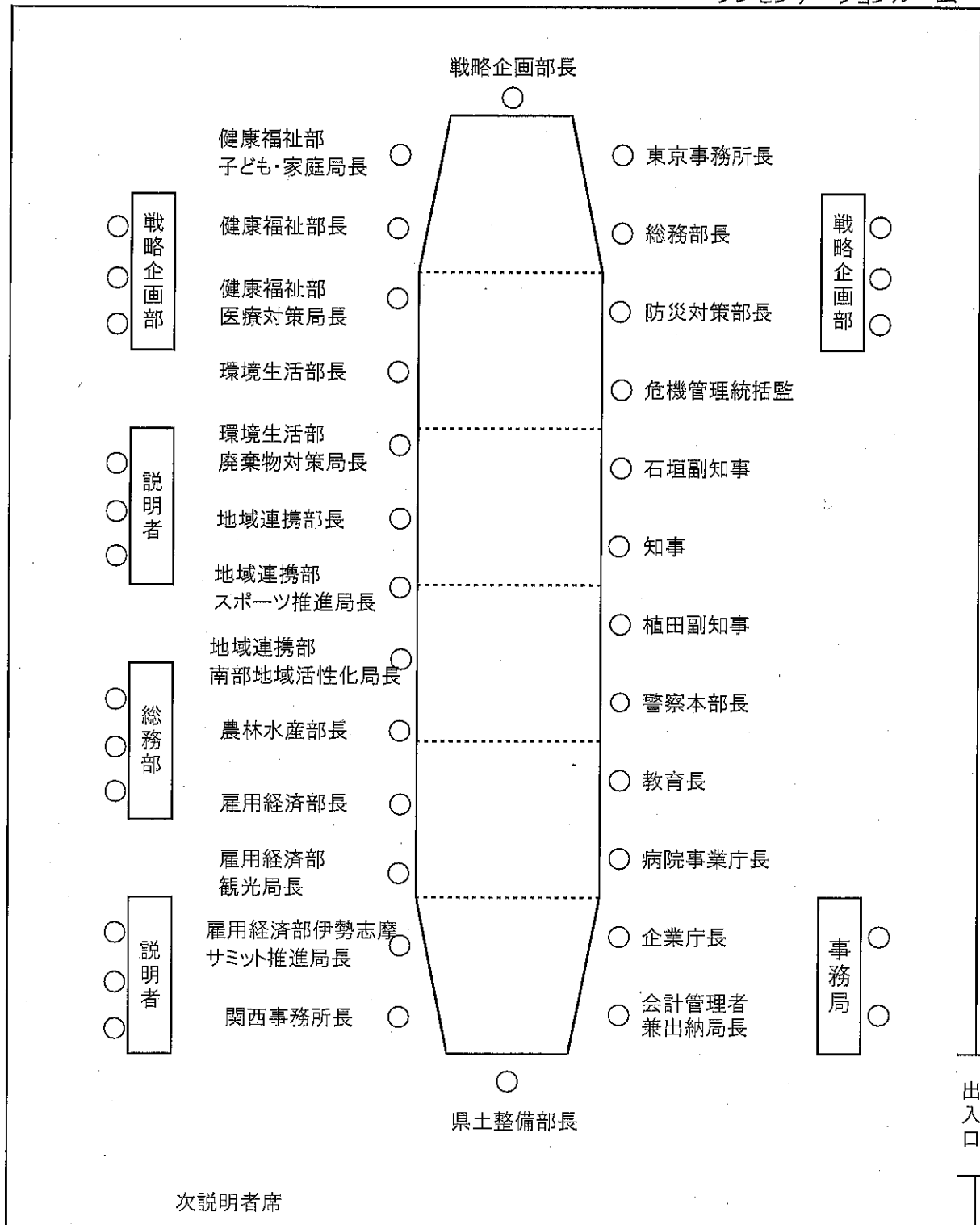
- (1) ジュニア・サミット体験・交流プラン等の提案について【資料1】
- (2) 「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について【資料2】
- (3) クラウドファンディングの活用開始について【資料3】
- (4) 協賛、応援、寄附の申込状況等について【資料4】
- (5) 県民会議 収支予算(平成27・28年度)の考え方について【資料5】
- (6) 伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて【資料6】
- (7) 弁当供給体制の整備について【資料7】
- (8) プレス等を活用した情報発信の展開について【資料8】
- (9) 住民懇話会の実施について【資料9】
- (10) 伊勢志摩サミット開催150日前イベントについて【資料10】
- (11) 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について【資料11】
- (12) その他
 - ・伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール【資料12】

【配布資料】

- ・資料１：ジュニア・サミット体験・交流プラン等の提案について
- ・資料２：「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について
- ・資料３：クラウドファンディングの活用開始について
- ・資料４：協賛、応援、寄附の申込状況等について
- ・資料５：県民会議 収支予算（平成２７・２８年度）の考え方について
- ・資料６：伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて
- ・資料７：弁当供給体制の整備について
- ・資料８：プレス等を活用した情報発信の展開について
- ・資料９：住民懇話会の実施について
- ・資料１０：伊勢志摩サミット開催１５０日前イベントについて
- ・資料１１：伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について
- ・資料１２：伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール

平成27年度第8回三重県伊勢志摩サミット推進本部会議(12/24)座席表

プレゼンテーションルーム



平成 27 年 1 月 24 日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
事業推進課

ジュニア・サミット体験・交流プラン等の提案について

1 目的

ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達に交流機会を提供します。

2 取組内容

ジュニア・サミット参加者に三重県の美しい自然や豊かな伝統・文化などを体験いただくため、「日本（世界）一、日本（世界）初、日本（世界）唯一、日本（世界）有数」など「三重のいちばん」をテーマとする体験・交流のコンテンツ及び三重県ならではの歓迎交流行事を県内市町に照会し、各市町から提案のあった体験・交流プラン及び歓迎交流行事を、別添のとおり提案書にまとめ、国に提案します（1 月 25 日予定）。

3 今後の取組方針

- (1) 今回提案する体験・交流プラン及び歓迎交流行事の実現に向け、また、開催日程を通して、県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けられるよう、外務省と協議します。
- (2) 開催に向け、参加者の歓迎や受け入れ等について、主会場となる桑名市をはじめ、県内市町や関係者と緊密な連携を図っていきます。

※参考

ジュニア・サミットについては、下記の内容で開催予定です。

- ・名称：「2016 年ジュニア・サミット in 三重」
- ・開催期間（予定）：平成 28 年 4 月 22 日から 28 日まで
(4 月 21 日会場入り、4 月 29 日東京出発)
- ・主催：日本国外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議
- ・会議（討議）テーマ（案）：「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」
- ・参加者：G7 各国の原則として 15 歳～18 歳の 4 名のチーム（男性 2 名、女性 2 名）及び付添人 1 名
- ・使用言語：英語
- ・日本代表チームは三重県から選出（平成 27 年 12 月 19 日選考会実施）

2016年ジュニア・サミット in 三重 提案書(案)

～体験・交流プラン&歓迎交流行事～



平成27年12月25日

三 重 県

外務省国際文化交流審議官

新美 潤 様

「2016年ジュニア・サミット in 三重」にかかる提案書について

日頃より、伊勢志摩サミット開催に向けた三重県での準備等にご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ジュニア・サミットにつきまして、三重県桑名市を主会場とし、県内各地で視察、交流イベントを行う形で開催することを決定いただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今回、ジュニア・サミット参加者に、日本の原風景ともいえる美しい自然や、その自然との共生の中で育まれ、大切に受け継がれてきた豊かな伝統・文化など、三重の魅力を体験・体感していただくため、県内分散型の体験・交流プラン及び三重ならではの歓迎交流行事についてご提案申し上げます。

本プラン等は、ジュニア・サミットの参加者や関係者等、来訪いただく方々にとって、三重が持つ、まさに日本そのものの魅力を深く感じていただく絶好の機会となるとともに、高校生をはじめとする県内の子どもたちにとっても、参加者等と交流を深めることで、得難い貴重な経験となると考えています。

県・市町が一体となって、県民をあげてジュニア・サミットの成功に向け準備してまいりますので、本提案をぜひ採用いただきますようお願い申し上げます。

平成27年12月25日

三重県雇用経済部

伊勢志摩サミット推進局長

西城 昭二

「三重のいちばん」をテーマとした体験・交流 プラン & 三重ならではの歓迎交流行事 (ご提案)

《「三重のいちばん」をテーマとした体験・交流プラン》

ジュニア・サミットにおける討議日程終了後、ジュニア・サミット参加者の皆さんが、県内5エリアに分散して各地を訪れ、三重の美しい自然や豊かな伝統・文化などを体験・体感いただくため、「日本(世界)一、日本(世界)初、日本(世界)唯一、日本(世界)有数」など、「三重のいちばん」をテーマに、県内の市町から提案のあった、とっておきの体験や交流プランをエリア別にまとめ提案します。

なお、本プランには、県内の高校生等も同行し、一緒に体験しながら参加者との交流を図りたいと考えています。

《三重ならではの歓迎交流行事》

分散型体験・交流の際、各地において、ジュニア・サミット参加者の皆さんを歓迎するため、県内市町から提案のあった、三重ならではの、または日本らしい、伝統芸能やパフォーマンスの披露、交流イベント等の歓迎交流行事をエリア別にまとめ提案します。

体験・交流プラン一覧

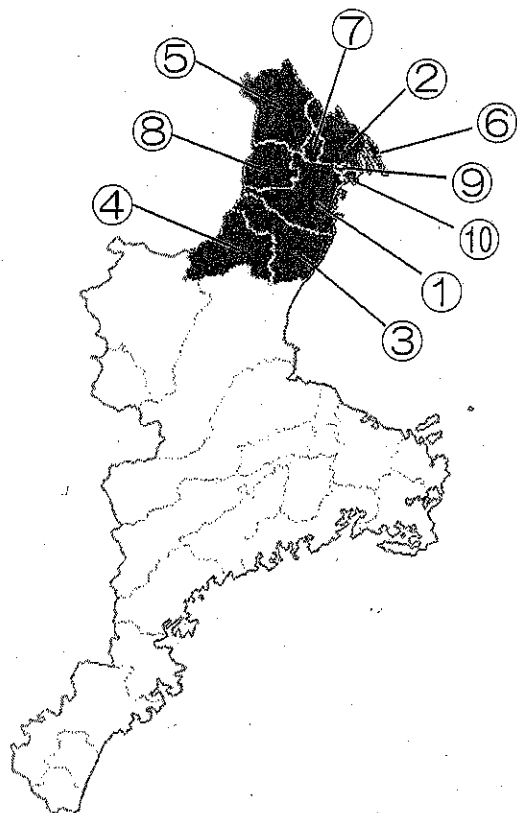
エリア	プラン名	伝統 歴史 文化	自然	環境 技術	掲載 箇所
北 勢	ばんこやき 四日市萬古焼の陶芸体験で四日市の伝統的な地場産業を学ぶ (四日市市)	●			P5
	六華苑で日本文化を体験しよう! (桑名市)	●			P5
	日本初の国際サーキット鈴鹿サーキット探検ツアーと伝統産業体験・かぶ せ茶のふるまい (鈴鹿市)	●		●	P5
	日本の大動脈・東海道で唯一の歴史的町並み「関宿」を舞台とした環境 文化学習 (亀山市)	●			P5
	西日本人気No.1のキャンプ施設で自然を満喫するアウトドア体験 (いなべ市)		●		P6
	太陽エネルギーでつくるグリーン電力の学習 (木曽岬町)			●	P6
	こども歌舞伎稽古見学 (東員町)	●			P6
	菰野の自然に触れて・感じて・思い出づくりを (菰野町)		●		P6
	東芝産業機器システム(株)の製造現場見学 (朝日町)			●	P7
	中部電力(株)川越火力発電所施設見学 (川越町)			●	P7
中 南 勢	青山高原の風車が作り出す次世代エネルギーと壮大な景観を体感しよう (津市)		●	●	P10
	深野たんたん田(棚田)での田植え体験 (松阪市)	●	●		P10
	日本初! 現役高校生が運営するレストラン「まごの店」(多気町)			●	P10
	日本遺産 平安体験〜皇女斎王の世界 (明和町)	●			P10
	清流宮川SUP(stand up paddle) (大台町)		●		P11
伊 賀	日本唯一のサンショウウオ専門水族館とオオサンショウウオが生息する沢 谷の見学 (名張市)		●	●	P14
	日本唯一の忍者博物館で忍者を学び、忍者になって城下町めぐり (伊賀市)	●			P14
伊 勢 志 摩	体験「Cool Japan〜和(WA)essence of Japan〜」(伊勢市)	●			P16
	真珠養殖発祥の地ミキモト真珠島を楽しむ (鳥羽市)	●	●		P16
	真田真珠のふるさと英彦湾で「宝石」「真珠」を知る (志摩市)	●	●		P16
	「伊勢のしめ縄」づくり体験〜伊勢地域に続く伝統文化に触れる〜 (玉城町)	●			P16
	日本一の清流宮川の地で茶摘み・手もみ茶体験 (度会町)	●	●		P17
	南伊勢町産本マグロ養殖漁場見学&えさやり体験 (南伊勢町)		●	●	P17
東 紀 州	世界遺産熊野古道ヘルスツーリズム (尾鷲市)	●	●		P20
	世界遺産熊野古道の歴史・文化継承活動 (熊野市)	●	●		P20
	〜豊かな自然を次世代に〜 奇跡の清流銚子川でのあまご掴みどり体験 と熊野古道散策 (紀北町)	●	●		P20
	世界遺産「川の参詣道 熊野川」における伝統の川舟「三反帆」 (紀宝町)	●	●		P21

歓迎交流行事一覧

エリア	歓迎交流行事名	掲載箇所
北勢	伝統文化(茶道)によるおもてなし (四日市市)	P8
	桑名の石取祭 (桑名市)	P8
	鈴鹿墨を使った書道ワークショップ (鈴鹿市)	P8
	日本の伝統芸能に触れる歓迎交流(亀山藩御流儀心形刀流武芸形 関宿祇園夏まつり雛子) (亀山市)	P8
中 南 勢	松阪鈴おどりとダンスパフォーマンス (松阪市)	P12
	長龍神事 (多気町)	P12
	日本遺産 平安体験～皇女 さいおう 斎王の世界 (明和町)	P12
伊賀	伊賀流忍者の奥義 伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による実演 (伊賀市)	P14
伊 勢 志 摩	日本の伝統文化 伊勢音頭を伊勢の中高生と踊ろう! (伊勢市)	P18
	海女が日本一多いまち鳥羽 海女小屋交流会 (鳥羽市)	P18
	国重要無形民俗文化財「安乗 あのり の人形芝居(安乗文楽)」上演と人形遣い体験 (志摩市)	P18
	玉丸城太鼓披露 (玉城町)	P18
東 紀 州	三重県を代表する民謡「尾鷲 おわせぶし 節」の歌・太鼓・踊りの披露と「尾鷲節」踊りの体験! (尾鷲市)	P22
	～一期一会～ 古民家茶道体験 おもてなし交流 (熊野市)	P22
	びんのやま 便ノ山神楽 (紀北町)	P22

— 北勢エリア —

■ 北勢エリア10市町



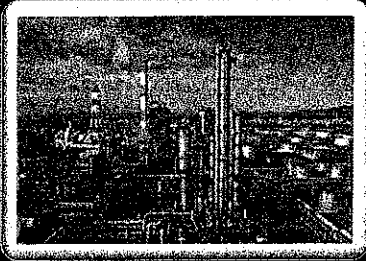
市町名	人口	面積
① 四日市市	306,107 人	206.44 km ²
② 桑名市	141,088 人	136.68 km ²
③ 鈴鹿市	196,835 人	194.46 km ²
④ 亀山市	50,424 人	191.04 km ²
⑤ いなべ市	45,115 人	219.83 km ²
⑥ 木曽岬町	6,443 人	15.74 km ²
⑦ 東員町	25,410 人	22.68 km ²
⑧ 菰野町	40,372 人	107.01 km ²
⑨ 朝日町	10,468 人	5.99 km ²
⑩ 川越町	14,794 人	8.73 km ²

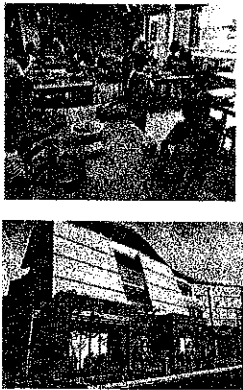
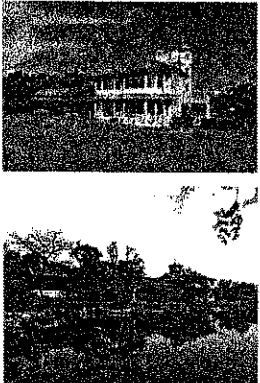
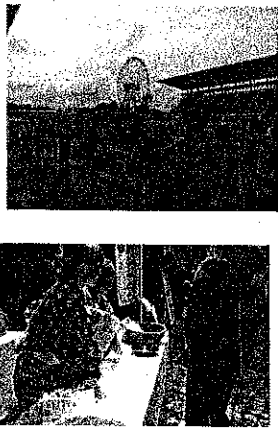
【人口】出典：平成 27 年 8 月 1 日現在推計人口（三重県統計課）
 【面積】出典：三重県市町要覧（平成 27 年度版）

■ 特徴

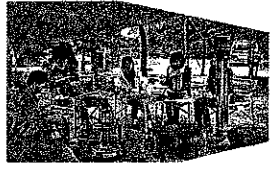
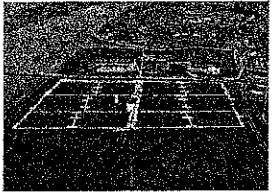
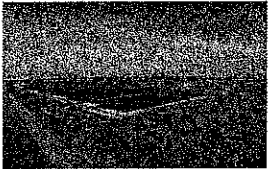
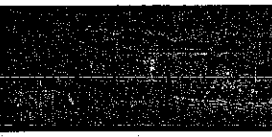
北勢地域は三重県の北部に位置し、本地域の一部は、鈴鹿国立公園などに指定されており、御在所岳をはじめ鈴鹿山脈や養老山地へと雄大な景観が広がります。

また、関宿や坂下宿、白子宿など、東海道や伊勢街道沿いには、かつて宿場町や追分として賑わいをみせた町並みがみられます。沿岸部には、四日市港をはじめ、中京工業地帯の一翼として、石油化学コンビナートなどが立地する工業地帯が広がっています。

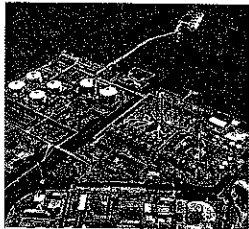


プラン名	内 容	
四日市萬古焼の陶芸体験で四日市の伝統的な地場産業を学ぶ 場所 ばんこの里会館 （四日市市）	<u>国の伝統的工芸品に指定されている「四日市萬古焼」</u>は、江戸時代に桑名の商人沼波弄山（ぬなみ ろうざん）が、茶の趣味が高じて、茶器を焼き始めたのが始まりとされています。 永遠に残るように、「萬古不易」の印を押したのが名前のいわれとされています。 ばんこの里会館の工房にて、プロによる丁寧な指導のもと、陶芸の楽しさ、奥の深さを学び、<u>オリジナル作品をつくっていただきます。</u>	
六華苑で日本文化を体験しよう！ 場所 六華苑 （桑名市）	和洋の様式が調和した明治・大正期を代表する貴重な文化遺産でもあり、<u>国の重要文化財にも指定されている六華苑</u>にて、<u>日本のお茶を楽しんでいただく</u>たり、<u>着物の着付け体験</u>をしていただきます。 六華苑だからこそ実現できる五つの体験（見る・知る・学ぶ・感じる・味わう）で日本文化を楽しんでいただく内容となっており、歴史的建造物及び情緒あふれる庭園で着物を着て写真を撮影し、記念のお土産としてプレゼントします。	
日本初の国際サーキット鈴鹿サーキット探検ツアーと伝統産業体験・かぶせ茶のふるまい 場所 鈴鹿サーキット （鈴鹿市）	<u>日本唯一、世界有数のF1サーキット「鈴鹿サーキット」</u>で、世界最高レベルのレース運営の内側を間近で見、日本最高峰のチームピットの交流訪問、レースマシン乗車体験等、レースの<u>生の迫力を体験</u>します。日本のモビリティ文化の発展に寄与してきた鈴鹿サーキットの最新の設備・レースを通して、モータースポーツを中心とした現在の取組を学んでいただきます。また、日本一の生産量を誇る<u>伊勢型紙と、墨として日本唯一の伝統的工芸品である鈴鹿墨の職人との体験・交流及び実演披露</u>し、日本一の生産量を誇る<u>かぶせ茶を試飲</u>いただきます。	
日本の大動脈 東海道で唯一の歴史的町並み「関宿」を舞台とした環境文化学習 場所 東海道関宿 （亀山市）	<u>東海道で唯一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定</u>され、今もなお昔の佇まいを残す、関宿。関宿に住む人々は、過去から自らの暮らしと町並み保存を両立させ、歴史文化を継承してきました。 誇りある美しい町並みが人の心を動かし、地域全体の保存活動に繋がった歴史について、<u>関宿を歩きながら体験学習</u>していただきます。また、まちの魅力に惹かれて移住した米国出身の伝統文化の継承者と一緒に<u>持続可能なまちづくりについて意見交換</u>を行い、古き良きものを大切にする日本の心や文化について交流学習できます。	

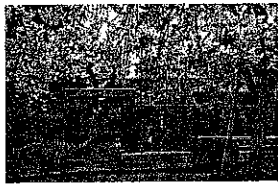
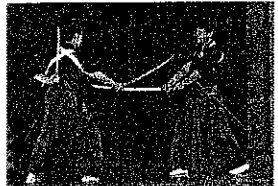
— 体験・交流プラン（北勢エリア） —

プラン名	内 容	
西日本人気No.1のキャンプ施設で自然を満喫するアウトドア体験 場所 青川峡キャンピングパーク (いなべ市)	雄大な鈴鹿山脈と清流青川に囲まれた、<u>西日本人気No.1の自然体験型キャンプ場である青川峡キャンピングパークにて、溪流釣りや沢歩き、登山や昆虫採集などのアウトドア体験を楽しんでいただきます。</u> 緑豊かな自然を満喫して、会議などで疲れた体をリフレッシュしていただきます。	 
太陽エネルギーでつくるグリーン電力の学習 場所 木曽岬干拓地メガソーラー発電所 (木曽岬町)	木曽岬干拓地の<u>メガソーラー発電所は、国内有数の規模を誇り、環境負荷の少ない再生可能エネルギーとして注目を集めています。</u>この広大な施設を見学し、太陽エネルギーでつくる<u>グリーン電力の学習</u>をしていただきます。また、近隣の川越火力発電所(化石燃料発電)との比較により、その違いを学習します。 (規模)・敷地面積 78ha ・パネル枚数約 20 万枚 ・最大出力 49 メガワット ・想定年間発電量 5,200 万 kwh/年 (約 14,500 世帯の年間使用電力量に相当)	 
こども歌舞伎稽古見学 場所 東員町総合文化センター (東員町)	日本の伝統芸能を代表する歌舞伎。東員町においては、<u>七世松本幸四郎丈を顕彰</u>するとともに、伝統文化の振興を目的として、県内で唯一「こども歌舞伎」を実施しています。来年6月に開催予定の第21回目の「こども歌舞伎」の<u>稽古風景を見学</u>するなど、日本の伝統芸能にふれ、学んでいただきます。 ① <u>こども歌舞伎 稽古風景の見学</u> (演目:白浪五人男) ② <u>法被を着用した記念撮影会</u> ③ <u>茶道体験</u>(お茶・和菓子によるおもてなし)	 
菰野の自然に触れて、感じて、思い出づりを 場所 御在所ロープウェイ及びマコモ圃場 (菰野町)	湯の山温泉から御在所岳を結ぶ<u>御在所ロープウェイ</u>は、全長 2,161m、高低差 780m、白い鉄塔は 61m で日本一の高さがあり、世界有数の規模を誇るロープウェイです。ゴンドラや山上からは、伊勢平野、伊勢湾が一望でき、スリル満点の<u>空中散歩が体験</u>できます。 マコモは、日本に古くから伝わる植物で、イネ科の植物です。大昔の菰野町は、マコモが多く茂る野原で、そこを開墾し村づくりを始めたことが、町名の由来とされています。森と清水に囲まれた日本の原風景ともいえる大正田で、<u>マコモの田植えを体験</u>していただきます。	 

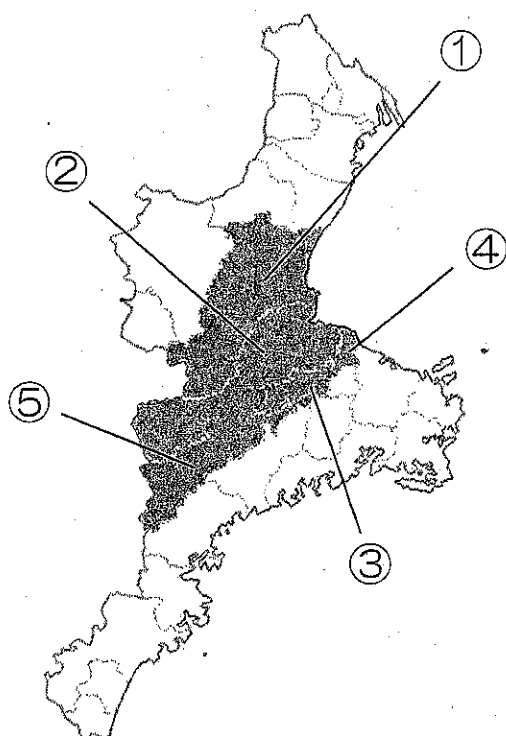
— 体験・交流プラン（北勢エリア） —

プラン名	内 容	
東芝産業機器システム(株)の製造現場見学 場所 東芝産業機器システム(株) (朝日町)	社会インフラを支える電気製品として、<u>東芝産業機器システム(株)</u>が製造している産業、電力、交通関係のモーター、<u>変圧器</u>(誘導電動機(モーター))は、芝浦製作所が日本初)の製造の様子を見学いただきます。特に同社は80年近い歴史を持つ工場でもあり、昔からのモノづくりの精神が生きており、「モノづくりの日本」の姿を体感いただきます。また、近年の環境保全の意識の高まりから、国際的な基準である<u>高効率規制</u>を導入している製品を見学いただき、環境問題に対する製造業の取組についてご理解いただきます。	 
中部電力(株)川越火力発電所施設見学 場所 中部電力(株)川越火力発電所 川越電力館テラ46 (川越町)	川越火力発電所は、LNG(液化天然ガス)を使用し、1・2号機の発電方式は、大容量機では世界初の主蒸気圧 31.0MPa、蒸気温度 566℃の超々臨界圧二段再熱方式を採用し熱効率 46.4%を誇ります。3・4号機は、ガスタービン入口のガス温度を 1,100～1,300℃級に高くし、高温排気ガスを排熱回収ボイラで有効利用することにより、従来に比べ高い熱効率 53.9%を誇る、<u>国内有数の火力発電施設</u>です。普段見ることのできない<u>発電施設内</u>や、エネルギーの重要性を体験できる<u>川越電力館テラ46</u>を見学していただきます。	 

— 歓迎交流行事（北勢エリア） —

歓迎交流行事名	内 容	
伝統文化(茶道)によるおもてなし (四日市市)	<u>泗翠庵(しすいあん)</u>は、日本古来の伝統文化(茶道・句会等)に親しむことができる場(木造平屋建、数寄屋造り)であり、落ち着いた和の雰囲気、<u>茶道体験によるおもてなし</u>をします。 また、四季折々のお床を拝見しながら、お気軽にお菓子とお抹茶で一服していただける、いす席の茶席である<u>立礼(りゅうれい)席</u>も用意しています。	 
桑名の石取祭 (桑名市)	「<u>日本一やかましい祭り</u>」と称される<u>桑名石取祭</u>の祭車行事は、江戸時代初期に始まったものといわれ、桑名の伝統的な祭りの1つです。祭車総数 43 台、全国的に見ても単一の神社、一神事でこれほどの山車が一堂に会する祭りは非常に珍しく、華麗な装飾を施した祭車に鉦や太鼓をつけ、それらを一斉に打ち鳴らす音が、見る者を圧倒させる勢いある勇壮な祭りです。 Jサミット参加者に、<u>国指定重要無形民俗文化財</u>にも指定されている<u>石取祭</u>を<u>実際に体験</u>してもらい、石取祭の迫力を感じていただきます。	 
鈴鹿墨を使った書道ワークショップ (鈴鹿市)	国指定の伝統的工芸品「<u>鈴鹿墨</u>」を使った書道ワークショップを実施します。まず、書道家が墨を使って、大きな紙に「<u>地球</u>」「<u>平和</u>」等サミットに関連する文字を書き、そのあと、Jサミット参加者が墨をすり、筆を持って、書道家が書いた文字に関連する文字(英語または母国語)や絵を周りに書き、<u>参加者全員でひとつの作品を作り上げます</u>。 日本古来の書道を通して、文化・伝統・歴史を発信できる交流行事を開催します。	 
日本の伝統芸能に触れる歓迎交流(亀山藩御流儀心形刀流武芸形・関宿祇園夏まつり囃子) (亀山市)	<u>亀山藩御流儀心形刀流武芸形</u>は、亀山藩公認の武芸流儀で、現在は亀山のみに残された日本の古武道です。今も心形刀流保存赤心会により、伝承活動が続けられています。 一方、関宿祇園夏まつりの開催時には、<u>山車の巡行</u>が行われ、<u>笛や太鼓などによるお囃子</u>が響き渡ります。 日本の伝統芸能である<u>古武道</u>、<u>お囃子</u>を披露し、参加者を歓迎します。お囃子の中でも太鼓は、地元の子どもと一緒に気軽に体験できます。	 

■ 中南勢エリア5市町



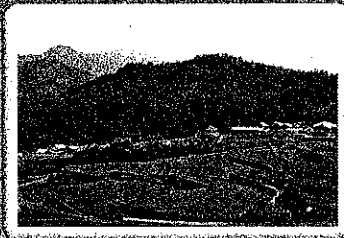
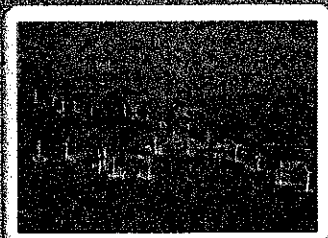
市町名	人口	面積
① 津市	279,304 人	711.11 km ²
② 松阪市	165,166 人	623.64 km ²
③ 多気町	14,846 人	103.06 km ²
④ 明和町	22,520 人	41.04 km ²
⑤ 大台町	9,627 人	362.86 km ²

【人口】出典：平成 27 年 8 月 1 日現在推計人口（三重県統計課）
 【面積】出典：三重県市町要覧（平成 27 年度版）

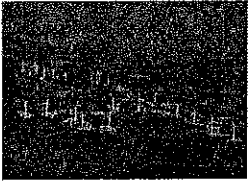
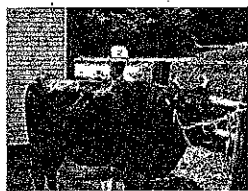
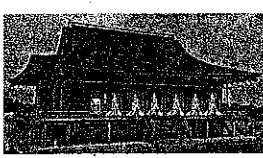
■ 特徴

★ 中南勢地域には県庁所在地があり、本地域の一部は、室生赤目青山国定公園などに指定されており、布引山地、高見山地などの豊かな自然が広がっています。また、平野部では、稲作などのまとまりのある田園が広がり、松阪市飯南町では美しい棚田もみられます。

本地域内では、伊勢別街道、伊賀街道、初瀬街道、和歌山街道などが伊勢神宮に向けて伊勢街道に合流し、宿場町や追分の風情ある町並みが残っています。また、中部国際空港への海上アクセスの拠点が整備され、伊勢湾沿岸の津松阪港などには、工場や造船所が立地しています。



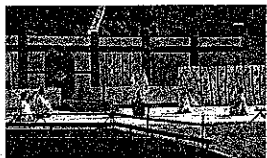
— 体験・交流プラン（中南勢エリア） —

プラン名	内 容	
青山高原の風車が作り出す次世代エネルギーと壮大な景観を体感しよう 場所 青山高原風力発電施設（津市）	津市と伊賀市にまたがる<u>青山高原</u>一帯の日本最大級である<u>風力発電施設群</u>の見学を通じて、地球温暖化について考えるきっかけにするとともに、津市の自然資源等の素晴らしさを感じていただきます。 （内容） ・設置事業者による青山高原風力発電施設群の説明 ・青山高原風力発電施設の見学	 
深野だんだん田（棚田）での田植え体験 場所 深野だんだん田（松阪市）	松阪市飯南町の深野地区は、<u>松阪牛</u>を育てる<u>肥育農家</u>や、古くから「<u>深野和紙</u>」と呼ばれる和紙の生産で知られています。また、<u>日本棚田百選</u>の1つに選ばれている「<u>深野だんだん田</u>」は、白猪山（しらいさん）南側の急斜面に開けた棚田で、室町時代中期から江戸時代初期にかけて開拓されたと言われており、幾重にも積まれた自然石が織り成す風景は、まさに<u>石の芸術</u>です。 この「<u>深野だんだん田</u>」で、<u>手作業での田植え</u>を体験していただき、稲作から多くの文化を生み出してきた日本人の生活を感じていただきます。	 
日本初！現役高校生が運営するレストラン「まごの店」 場所 高校生レストラン「まごの店」（多気町）	県立相可高等学校食物調理科は、調理師、パティシエなどのスペシャリストの育成、地域の食のリーダー養成を目指しています。その生徒達がクラブ活動として、<u>高校生レストラン「まごの店」</u>を運営しており、<u>日本初</u>の取組として高い評価をいただき、営業日は多くのお客様で賑わっています。生徒達は授業やレストランで研鑽を積み、国内外のコンクール等で輝かしい成績を収めています。 生徒達の夢の実現に向けたひたむきな姿や彼らの料理を通して、<u>和食の伝統文化</u>やその<u>技術</u>、<u>地域産品の味</u>を紹介します。	 
日本遺産 平安体験～皇女斎王の世界 場所 さいくう平安の杜・いつきのみや歴史体験館（明和町）	<u>国指定史跡斎宮跡</u>が広がる明和町。<u>伊勢神宮</u>に仕えた<u>未婚の皇女・斎王</u>が居住した地であり、平安時代の貴族の屋敷「<u>寝殿造</u>」をモデルとした「<u>いつきのみや歴史体験館</u>」において、十二単、直衣の試着体験を行うとともに、平安時代の遊び（貝合わせ、盤すごろく、蹴鞠など）を体験していただきます。 また、本年9月にオープンした「さいくう平安の杜」も見学します。	 

— 体験・交流プラン（中南勢エリア） —

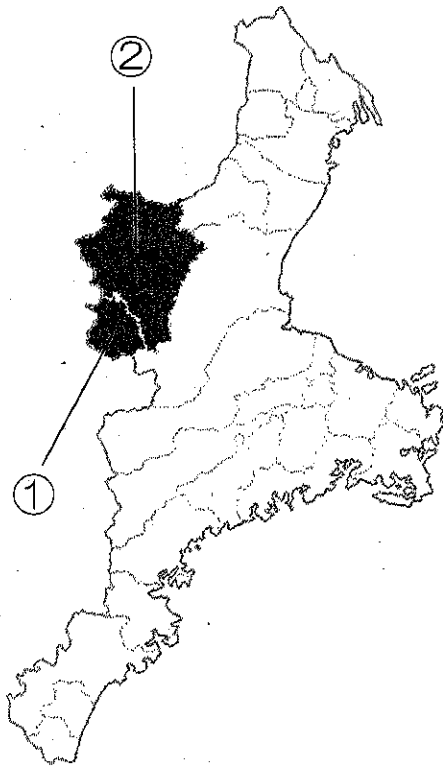
プラン名	内 容
清流宮川 SUP (stand up paddle) 場所 三瀬谷ダム湖 (大台町)	過去11回清流日本一を獲得した宮川でSUP体験を行っていただきます。 美しい景色を望みながら、清流宮川で<u>水上散歩</u>を体験し、さらにより綺麗な宮川の支流にもSUPで行き、<u>最高の景観と水の綺麗さを楽しんでいただきます。</u> 清流日本一もさることながら、他にはなかなかない「SUP」も一緒に体験できます。  

— 歓迎交流行事（中南勢エリア） —

歓迎交流行事名	内 容	
松阪鈴おどりとダンスパフォーマンス (松阪市)	三重県・松阪市・松阪市民のコラボレーションにより、平成13年に開催された本居宣長没後200年事業として、本居宣長がこよなく愛した「鈴」をテーマとした「<u>松阪鈴おどり</u>」が誕生しました。鈴の音をシャンシャンと響かせながら、踊りの輪が一気に広がります。鈴おどりのメロディーが始まると自然と体が動き始め、<u>Ｊサミット参加者も一緒に軽快に踊っていただくことができます</u>。そして、ヒップホップのダンスパフォーマンスも披露し、会場全体に「ひとのわ」が広がります。松阪鈴おどりは、みえの国観光大使のあべ静江さんが歌っています。	 
長龍神事 (多気町)	<u>長龍神事</u>は、多気町の片野八柱神社に室町時代から伝わる神樂的な神事です。太古スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治した<u>出雲の国の神話</u>を象徴化して演じるもので、長龍の体内に飲み込まれた子どもたちを、天狗が引きずり出す様が、見物客の笑いを呼び人気があります。	 
日本遺産 平安体験～皇女斎王の世界 (明和町)	天皇に代わり伊勢神宮の天照大神に仕え、日本の平安を祈る日々を送った皇族女性「斎王」。 今秋復元した「<u>さいくう平安の杜</u>」のおもてなしの建物において、斎王たちが過ごした雅な世界を堪能していただくため、<u>平安茶会、斎王の舞、斎王群行の再現</u>などを披露します。	 

— 伊賀エリア —

■ 伊賀エリア 2市



市町名	人口	面積
① 名張市	78,190 人	129.77 km ²
② 伊賀市	91,876 人	558.23 km ²

【人口】出典：平成 27 年 8 月 1 日現在推計人口（三重県統計課）

【面積】出典：三重県市町要覧（平成 27 年度版）

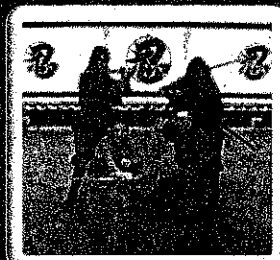
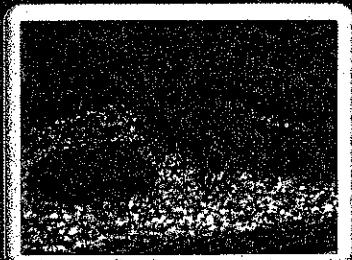
■ 特徴

伊賀地域は、四方を山に囲まれた盆地に城下町や街道を中心に発達した歴史的な都市構造がみられ、山麓部では美しい農村集落が点在しています。

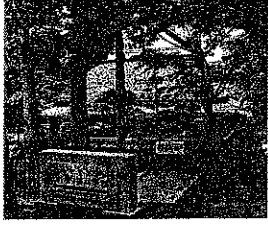
本地域の一部は、室生赤目青山国定公園などに指定され、緑豊かな山々が連なっており、上野盆地内の平地部では、田園景観が広がります。

また、中心市街地では、城下町の町割りの残る町並みがみられ、大和街道、伊賀街道、初瀬街道などの宿場町や追分では、歴史的な町並みがみられます。

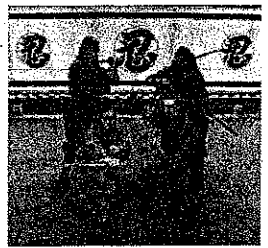
郊外には、広域交通網を生かした工業団地や住宅団地が立地しています。



— 体験・交流プラン（伊賀エリア） —

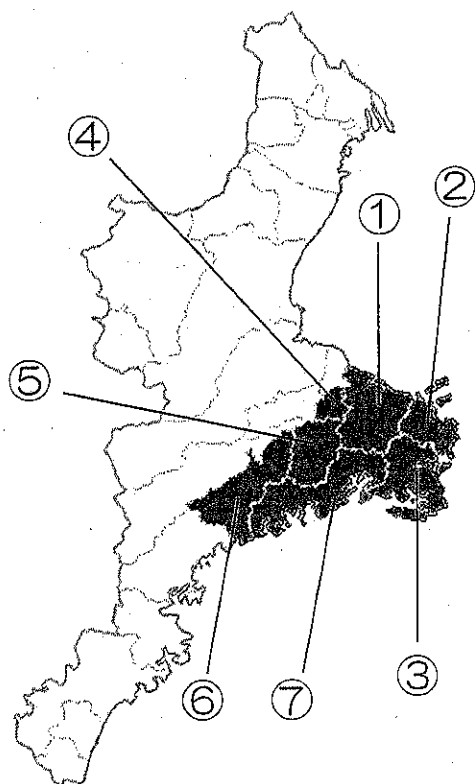
プラン名	内 容	
日本唯一のサンショウウオ専門水族館とオオサンショウウオが生息する渓谷の見学 場所 日本サンショウウオセンター (名張市)	<u>日本唯一のサンショウウオ専門水族館「日本サンショウウオセンター」にて、センターで飼育している様々なサンショウウオや食用として輸入された中国種と在来種の交雑種の生態について説明し、自然環境と生態系への影響等を学びます。</u> その後、日本在来種のオオサンショウウオが生息する<u>平成の名水百選</u>にも選ばれた<u>赤目四十八滝</u>渓谷内を、オオサンショウウオを探しながら<u>散策</u>します。	 
日本唯一の忍者博物館で忍者を学び、忍者になって城下町めぐり 場所 伊賀流忍者博物館 及び伊賀上野NINJAフェスタ 2016 (伊賀市)	<u>伊賀流忍術発祥の地</u>である伊賀市で、<u>一日忍者体験</u>を行っていただきます。 まず、<u>忍者衣装に着替えて</u>忍者になった後、日本唯一の忍者をテーマにした博物館で忍者について学びます。その後、日本を代表する忍者集団「<u>阿修羅</u>」による<u>忍者ショー</u>を見学して、<u>本物の手裏剣</u>を投げてもらいます。その後、忍者衣装を着たまま、城下町エリアで開催中の<u>伊賀上野NINJAフェスタ</u>に参加してもらい、城下町の風情を楽しみながら、忍者体験を行っていただきます。<u>昼食は忍者チラシ(ちらし寿司)</u>をご用意します。	 

— 歓迎交流行事（伊賀エリア） —

歓迎交流行事名	内 容	
伊賀流忍者の奥義 伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による実演 (伊賀市)	連日、伊賀流忍者博物館において、忍者の技を本格的な演武を交えて紹介している、<u>日本を代表する忍者集団「阿修羅」による実演ショー</u>を行います。 本物の<u>日本刀</u>や<u>2丁鎌</u>を使った<u>試し切り</u>や、<u>手裏剣打ち</u>の技など、本格的な忍者の技を披露します。 年間 1,000 ステージ以上の公演に裏付けられた迫力あるショーは、伊賀流忍者博物館を訪れる<u>海外からのお客様</u>にも人気が高く、伊賀市の海外プロモーションのみならず、三重県や政府の海外ミッションでも非常に高い評価を受けています。	 

— 伊勢志摩エリア —

■ 伊勢志摩エリア7市町



市町名	人口	面積
① 伊勢市	126,478 人	208.35 km ²
② 鳥羽市	19,227 人	107.34 km ²
③ 志摩市	50,124 人	178.94 km ²
④ 玉城町	15,477 人	40.91 km ²
⑤ 度会町	8,256 人	134.98 km ²
⑥ 大紀町	8,951 人	233.32 km ²
⑦ 南伊勢町	12,705 人	241.89 km ²

【人口】出典：平成 27 年 8 月 1 日現在推計人口（三重県統計課）

【面積】出典：三重県市町要覧（平成 27 年度版）

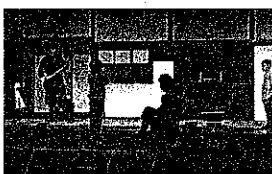
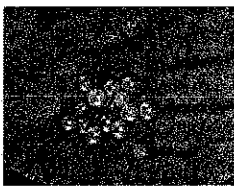
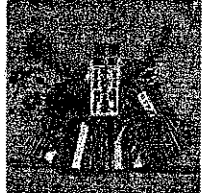
■ 特徴

伊勢志摩地域は伊勢神宮を中心に発展し、美しいリアス式海岸と漁村や漁港に特徴があり、平野部は少なく山地が海へと繋がり、市街地を包む神宮林や河川の清流など、風光明媚な地域です。

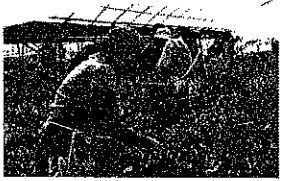
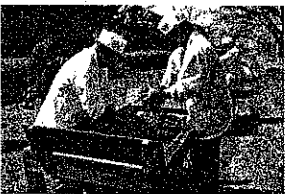
本地域の多くが伊勢志摩国立公園などに指定されており、伊勢湾や熊野灘沿岸には、変化に富んだ美しい海の風景が広がります。また、本地域は、伊勢神宮をはじめ、歴史・伝統・文化を伝える神社や建造物のほか、テーマパークや宿泊施設などが多く、観光リゾート地として発展しています。



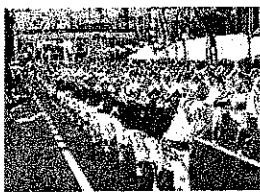
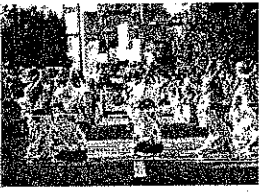
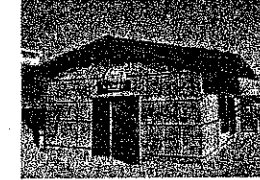
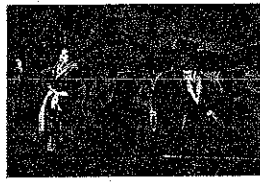
— 体験・交流プラン（伊勢志摩エリア） —

プラン名	内 容	
体験！Cool Japan ～和【WA】 essence of Japan ～ 場所 伊勢・安土桃山 文化村 (伊勢市)	・<u>忍者ショー実演</u>…歴史に暗躍した忍びの真の姿、働き、精神を忍者アクションを通して楽しみながら観覧いただきます。織田信長の安土城を原寸大で復元した日本唯一の城の前で披露します。 ・<u>花魁道中実演</u>…江戸時代に栄えた町人文化の象徴たる、絢爛豪華な花魁道中を観覧いただきます。 ・<u>吹き矢・手裏剣・弓矢体験</u>…忍器を使用し、忍者体験をします。 ・<u>和服着付け体験</u>…時代衣装や浴衣などの変身体験。復元安土城の前での撮影会などが可能です。	 
真珠養殖発祥の地ミキモト真珠島を楽しむ 場所 ミキモト真珠島 (鳥羽市)	1893年、ミキモトの創業者御木本幸吉翁が世界で初めて真珠の養殖に成功した地が、<u>ミキモト真珠島</u>です。「真珠王」と呼ばれた御木本幸吉の生涯を紹介するとともに、「核入れ手術」をはじめとする養殖方法から、ネックレスなどの製品になるまでの工程を説明します。また、養殖した貝から真珠をとり出す工程を体験します。（とり出した真珠はプレゼントします。） さらに、かつて真珠の養殖にとってなくてはならない存在であった<u>海女の潜水実演</u>を観覧します。	 
真円真珠のふるさと英虞湾で、宝石「真珠」を知る 場所 英虞湾内の 養殖場・加工場 (志摩市)	「真珠」の歴史の中で、<u>英虞湾</u>は世界的にも非常に重要な意味を持つ場所です。真珠は太古の昔から貴重な宝石でしたが、100年ほど前に<u>御木本幸吉翁が英虞湾で養殖した真珠を世界に広め</u>、今では庶民にも手が届くようになりました。真珠の世界を変えたのは英虞湾ですが、この歴史は広く知られていません。 この英虞湾で養殖業を営む<u>生産者等の説明を受け、真珠ができるメカニズムを学ぶとともに、アコヤ貝からの珠出し体験</u>を通じて、真珠がなぜ世界を魅了したのか、目の前で生まれるその美しさを感じていただきます。	 
「伊勢のしめ縄」づくり体験 ～伊勢地域に続く 伝統文化に触れる～ 場所 (有)角谷産業 (玉城町)	しめ縄が飾られているその先は神域であり、厄を寄せ付けないという意味があり、本来はお正月の時期のみ玄関先などに飾られますが、伊勢志摩地方では、一年中しめ縄を飾るという風習があります。<u>伊勢のしめ縄生産量随一の(有)角谷産業で、しめ縄の由来や地域の風習などを学び、しめ縄づくり体験</u>を通して、日本固有の伝統文化に触れていただき、文化交流を図ります。	 

— 体験・交流プラン（伊勢志摩エリア） —

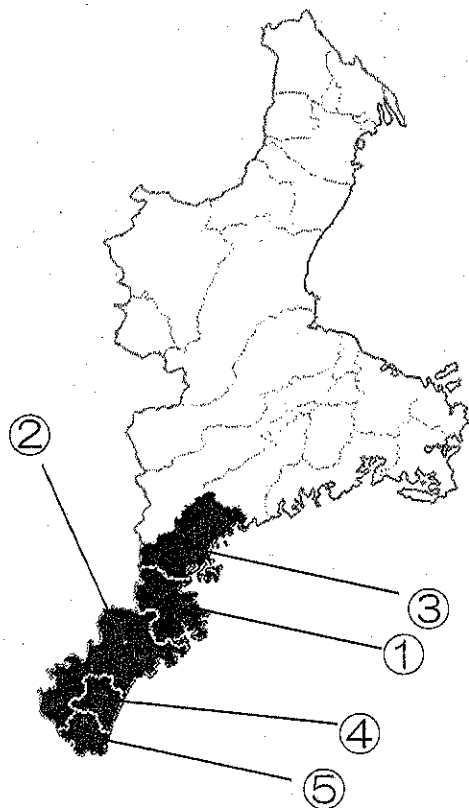
プラン名	内 容	
日本一の清流宮川の地で茶摘み、手もみ茶体験 場所 度会町地内の茶園（度会町）	伊勢茶の産地度会町で、日本一の清流宮川を眼下に茶農家の指導により、日本古来の伝統である<u>日本茶（緑茶）を、茶葉から摘み取る体験</u>を行っていただきます。また、三重県独自の手法として「片手葉揃揉み」を受け継ぐ、三重県手もみ茶技術伝承保存会長の指導により、手もみで仕上げる<u>手もみ茶の体験</u>を行っていただきます。 毎年、産業体験で手摘みを経験している県立南伊勢高等学校度会校舎の生徒と一緒に体験し、彼らの経験や地域の特性などをディスカッションします。	 
南伊勢町産本マグロ養殖漁場見学&えさやり体験 場所 神前湾養殖漁場（南伊勢町）	<u>本マグロの養殖場</u>としては日本最北端といわれる南伊勢町において、<u>マグロのえさやり体験</u>ができます。港にてレクチャーの後、地元神前浦の漁師さんの漁船で漁場まで行き、自らの手でえさをあたえます。巨大マグロを目の前に海の仕事の醍醐味が味わえます。また、<u>塩作り体験</u>や<u>カゴ網体験</u>もできます。	 

— 歓迎交流行事（伊勢志摩エリア） —

歓迎交流行事名	内 容	
日本の伝統文化 伊勢音頭を伊勢の 中高生と踊ろう！ （伊勢市）	昔は日本各地にお伊勢参りをするための組織が作られ、その中で選ばれた人がお伊勢参りに来ていました。各地からの参拝者が伊勢音頭を覚えて帰り、地元へ伝えたものが現在の盆踊りなどとなり踊り継がれています。Jサミット参加者に伊勢の中高生と一緒に伊勢音頭を踊る体験をしていただきます。「荷物にならない日本土産」として、ぜひ各国へ伊勢音頭をお持ち帰りください。 事前に伊勢の中高生が、伊勢音頭の歌詞を英訳し、唄の内容がわかるようにします。	 
海女が日本一多い まち鳥羽 海女小屋交流会 （鳥羽市）	海女が日本一多いまち鳥羽で、海女小屋体験や伝統芸能「九鬼水軍太鼓」の披露など歓迎の交流会を行います。 <u>海女小屋体験</u> 海女小屋は、海女さんが海女漁を行うときに休憩したり、火を焚いて、潜水作業で冷えた体を温めたりするところです。海女さんたちがおいしい魚介類を食べたり、団らんしたりする楽しいひとときを、現役の海女さんたちと一緒に体験・交流していただきます。	 
国重要無形民俗文化財「安乗の人形芝居（安乗文楽）」 上演と人形遣い体験 （志摩市）	日本の伝統芸能である人形浄瑠璃を通じて、古くから続く日本の伝統文化の素晴らしさをJサミット参加者に感じていただけるよう、国重要無形民俗文化財「安乗の人形芝居（安乗文楽）」を上演します。 人形芝居は、地域ぐるみで後継者を育成し、伝統を守り続けているため、<u>400年以上にわたり地域において伝承されています</u>。伝統を守る地域づくりの観点も含め、安乗人形芝居保存会のメンバーが説明を行うとともに、実際に参加者に人形を触れてもらう体験も行います。	 
玉丸城太鼓披露 （玉城町）	2016年に25周年を迎える玉城町の郷土芸能「玉丸城太鼓」。玉丸城太鼓保存会では子どもたちのグループ「鼓童会」も結成しています。日頃は福祉施設や地域イベントに参加し、地域の活性化と青少年の健全育成に寄与しています。 太鼓演奏を披露するとともに、Jサミット参加者に実際に和太鼓をたたく体験をしていただき、交流を深めます。	 

— 東紀州エリア —

■ 東紀州エリア5市町



市町名	人口	面積
① 尾鷲市	17,953 人	192.71 km ²
② 熊野市	17,727 人	373.35 km ²
③ 紀北町	16,678 人	256.53 km ²
④ 御浜町	8,784 人	88.13 km ²
⑤ 紀宝町	11,088 人	79.62 km ²

【人口】出典：平成 27 年 8 月 1 日現在推計人口（三重県統計課）

【面積】出典：三重県市町要覧（平成 27 年度版）

■ 特徴

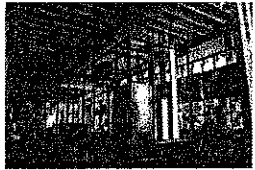
東紀州地域は、紀伊山地と熊野灘との間に挟まれたわずかな平地部が熊野灘沿いに点在し、起伏に富んだ紀伊山地と熊野灘の美しいリアス式海岸や七聖御浜が望め、特徴のある農村や漁村とともに熊野古道が地域の歴史の奥深さを醸し出しています。

本地域の一部は、吉野熊野国立公園に指定されており、原生林やスギ・ヒノキが美しい森林、深い渓谷などの眺望が楽しめます。

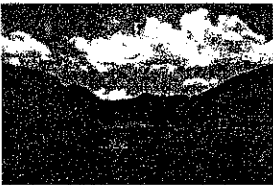
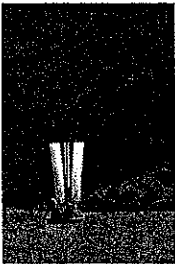
山間部では、世界遺産熊野古道伊勢路の苔むした石畳と緑深い森林が、神秘的な景観を醸し出しています。



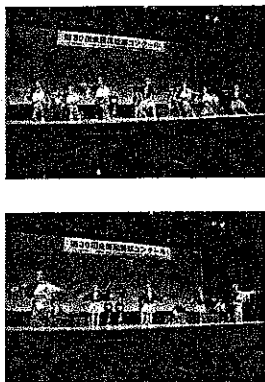
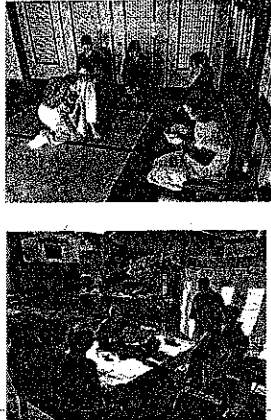
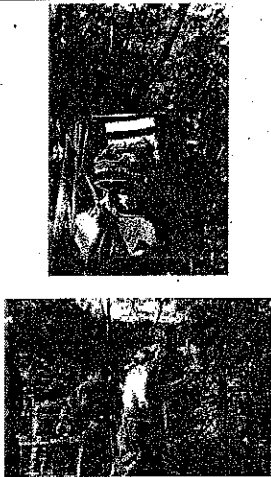
— 体験・交流プラン（東紀州エリア） —

プラン名	内 容	
世界遺産熊野古道ヘルスツーリズム 場所 世界遺産熊野古道「馬越峠」他（尾鷲市）	世界遺産熊野古道の中でも苔むした石畳が2kmにわたって続く「<u>馬越峠</u>」は人気のコースです。尾鷲市では、三重大学と連携し、古道ウォークでのリラックス効果を検証し、尾鷲セラピストによるヘルスツーリズムを行っています。古道ウォークとともに、尾鷲ヒノキを使い日本建築の伝統を守りながら、木造の美しさ、力強さを表現した<u>県立熊野古道センター</u>での<u>歴史文化の学習</u>、世界初の深層水淡水ミストサウナや世界的にも珍しい「<u>みえ尾鷲海洋深層水</u>」を使用した<u>温浴体験</u>、地元のお母ちゃん達が地元食材で作る郷土料理を味わっていただきます。	 
世界遺産熊野古道の歴史・文化継承活動 場所 世界遺産熊野古道「松本峠」他（熊野市）	県立木本高等学校では、30年近く、「<u>世界遺産熊野古道の浜街道</u>」と浜街道につながる「<u>西郷川</u>」の清掃活動を継続して行っています。また、世界遺産熊野古道に隣接することもある、熊野古道の歴史、文化、世界遺産の持つ意味について学習しています。このような活動により<u>県内の高等学校で唯一ユネスコスクールに認定</u>されています。Jサミット参加者と木本高校の生徒が交流することにより三重県の美しい自然や豊かな伝統・文化を体験していただきます。	 
～豊かな自然を次世代に～ 奇跡の清流銚子川でのあまご掴みどり体験と熊野古道散策 場所 銚子川、世界遺産熊野古道「馬越峠」（紀北町）	<u>奇跡の清流として知られる銚子川</u>。河口まで透明度が保たれ、多様な生物の営みがつぶさに観察できる河川は世界に誇れる三重県の宝です。この銚子川の環境保全団体と交流を行い、川に対する理解を深めていただいた後、<u>あまごの掴みどり</u>を行います。あまごを塩焼きにして召し上がっていただく事により、日本の自然豊かな川がもたらす恩恵を五感で感じていただきます。 塩焼きが仕上がるまでの時間は、美しい石畳が現存する新緑の<u>世界遺産熊野古道「馬越峠」</u>を語り部の案内で楽しみ、<u>山の自然</u>にも触れていただきます。	 

— 体験・交流プラン（東紀州エリア） —

プラン名	内 容	
世界遺産「川の参詣道 熊野川」における伝統の川舟「三反帆」 場所 世界遺産 「熊野川」 (紀宝町)	<u>熊野川</u>は、日本一雨が多いと言われる大台ヶ原と大峰山を源流とし、熊野灘にそそぐ一級河川で、熊野川流域には、特徴的な気候や地形から今も美しい景観と豊かな生態系が残っています。また、平安時代に上皇達が熊野三山への参詣道として熊野川を下っていたことから、<u>世界遺産に登録</u>されました。<u>川の参詣道</u>として世界遺産に登録されているのは、世界的にも熊野川だけであり、歴史的にも価値を有しています。 熊野川で使われていた<u>伝統の川舟「三反帆」に乗船</u>いただき、<u>熊野の自然と歴史を体感</u>していただきます。	 

— 歓迎交流行事（東紀州エリア） —

歓迎交流行事名	内 容	
三重県を代表する民謡「尾鷲節」の歌・太鼓・踊りの披露と「尾鷲節」踊りの体験！ （尾鷲市）	三重県を代表する民謡「尾鷲節」は、今から400年前の「大坂夏の陣」の戦いで豊臣側について敗れた真田一族が、涙ながらに紀州路、尾鷲に身を匿われ、その思いを歌ったのが始まりと言われています。大正14年に大阪でレコード化され、その後は有名な吉川英治や野口雨情らの作詞による歌詞も増え、現在の尾鷲節となっています。昭和29年には、全国民謡大会で第3位を獲得し、以来、三重県の代表民謡となっています。これらの歴史も含め、日本の伝統芸能である民謡に触れて、踊りを体験していただきます。	
～一期一会～ 古民家茶道体験 おもてなし交流 （熊野市）	熊野市内の古民家を改修した「熊野古道おもてなし館」で、<u>県内の高等学校で唯一ユネスコスクールに認定されている県立木本高等学校の茶道部</u>による「お茶」のおもてなしを通し、日本文化を体験してもらう歓迎交流行事を行います。また、<u>Jサミット参加者にも実際にお茶を点ていただくこと</u>で、古来より受け継がれてきた日本の伝統文化である茶道から、「わび・さび」の精神や「おもてなし」の精神を伝え、サミットを契機として世界に茶道文化を発信します。	
便ノ山神楽 （紀北町）	270年以上の歴史を誇る<u>便ノ山神楽</u>は、四日市の阿倉川の神楽宗家（池田家）の指導を受け、戦前、戦後と次代の若い衆に受け継がれて現在に至っています。 神楽舞は、古くからある日本の伝統芸能であり、Jサミット参加者に<u>日本らしい歓迎行事</u>として楽しんでいただきます。	

「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について

平成 27 年 12 月 24 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
総務課

1 目的

「伊勢志摩サミット三重県民会議」の会員について、ジュニアサミットの北勢地区開催、県民会議主催の第 1 回プレスツアーの伊賀地域等での実施など、各種事業における三重県内全域での展開が本格化し、また、全県的な取り組みとなるクリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動についても活動が具体化しつつあることから、広く、県内各市町及び、各市町に営業拠点を持する事業者が県民会議に参画いただくことにより、更なる全県的な開催機運醸成を図っていく。

※参考 伊勢志摩サミット三重県民会議規約

第 4 条 県民会議の会員は、別表 1 のとおりとする。ただし、設立総会以降参加希望の申し出があったものについては、この限りでない。

2 前項ただし書きの申し出があった場合は、会長は、これを役員会に諮らなければならない。

2 会員参画の基本的な考え方、経緯

○県民会議の設立時には、サミットを成功させるため、県全体の総力を結集し、幅広い分野から多くの関係者の協力を得るという基本方針のもと、会員は、原則、特定の企業ではなく、各分野を代表する関係団体、NPO 等、105 の団体で構成した。（電気・通信、交通・運輸関係では、例外あり）

○第 2 回役員会（9 月 16 日開催）において、連携を強化すべき分野（産業・経済関係、交通・運輸・警備関係、環境・市民関係、医療・衛生関係）において 9 会員を追加承認し、114 団体の構成となった。

3 新規参画会員（26 団体）

○県内 25 市町（津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、熊野市、いなべ市、伊賀市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町）

○日本郵便株式会社東海支社

第 3 回役員会（12 月 18 日開催）において、既に参画している 4 市町を除く県内各 25 市町及び、各市町に営業拠点を有する 1 事業者の計 26 会員の参画を承認し、県民会議の会員は 140 団体の構成となった。

平成 27 年 12 月 24 日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
総務課

クラウドファンディングの活用開始について

1 目的

個人からの寄附金募集にあたり、より広く広報し、多くの方からご支援をいただくため、クラウドファンディングの活用を開始した。

2 募集概要

(1) 募集対象

個人

(2) 募集期間

平成 27 年 12 月 16 日(水)18 時から平成 28 年 2 月 29 日(月)23 時まで

(3) 募集方法

募集と収納を下記事業者に委託

一般財団法人ジャパングビング

(4) 寄附方法

①一般財団法人ジャパングビングのホームページへアクセス

②県民会議プロジェクトページからページ内の手続きに沿って寄附申込み

③クレジットカード、銀行振込、ネットバンキングにより支払い

※一口 500 円以上

(5) 税制優遇

ふるさと納税と同様に税制優遇の対象

3 寄附者へのお礼

2,000 円以上の寄附者へ、非売品である伊勢志摩サミットノベルティ 3 点セット

4 周知・広報

- ・ ジャパングビング社におけるニュースリリースおよびバナー掲載。
- ・ 関東を含むメディア 200 社へ、三重テラスを通じ広報依頼。
- ・ 三重県関連の Facebook アカウントと、シェアやリンクなどで随時連携。
- ・ 三重の応援団、観光大使、三重県政策アドバイザーなどへ、メルマガ等を活用して広報協力を呼びかけ。

協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成27年12月24日

協賛、応援、寄附の募集にかかる12月21日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協 賛	応 援
55件 うち登録31件	361件 うち登録297件

寄 附				
合 計			298件	385,175,438円
内 訳	法人		191件	366,988,000円
	個人	一般	80件	18,074,538円
		クラウド ファンディング	27件	112,900円

〔備考〕

- ・協賛、応援の事業提案内容は、別添のとおりです。
- ・12月16日から、クラウドファンディングを開始しました。

協賛、応援申込状況

H27.12.21 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

- 【備考】・登録欄の「済」は登録済のもの、空欄は審査中のものです。
・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。
・登録欄の「取下」は申請者の事情により申請を取り下げたものです。申請件数には含まれません。

【協賛】

申請件数 55
うち登録件数 31

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	H27.9.3	尾鷲名水株式会社	サミットの出席者、スタッフにミネラルウォーターを提供	済	○
3	H27.9.11	「小さな親切」運動三重県本部	ごみ袋3万枚(JT協賛)配布し小中学校、企業等とともに、県民会議と同一週に環境美化活動実施	済	○
4	H27.9.11	百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行の行員3,000名がサミット開催の直前週に環境美化活動実施	済	○
5	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)の空いている立体駐車場を無償貸与	済	○
6	H27.9.18	株式会社アクアイグニス	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ「伊勢海老パイ」を提供	済	○
7	H27.9.24	—	—		○
8	H27.9.25	—	—		○
9	H27.9.25	—	—		○
10	H27.9.25	—	—		○
11	H27.10.5	三重畜産有限公司	サミット関連事業へ牛肉、豚肉、加工品等を提供	済	○
12	H27.10.14	新日本工業株式会社	伊勢志摩サミットの情報誌、パンフレットを入れるケースを作成し提供	済	○
13	H27.10.16	東紀州ヒロメ養殖協議会	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ東紀州の特産品「ヒロメ」を提供	済	○
14	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	伊勢志摩サミット関連イベントを対象とした店頭催事スペースの無償貸与	済	○
15	H27.10.26	—	—	済	後日公表
16	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	催事会場等へ三重県産活あさり、しじみ、はまぐりの提供	済	○
17	H27.10.30	—	—		○
18	H27.10.30	日本たばこ産業株式会社 東海支社	観光、宿泊、警備、報道関係など、人が集まる場所へのスタンド灰皿の提供	済	○
19	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミス・ユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミット」応援大使	済	○
20	H27.11.2	学校法人鈴鹿医療科学大学	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場となる鈴鹿医療科学白子キャンパスを無償貸与	済	○
21	H27.11.5	大石 小石	サミット関連事業参加者へ本真珠のタイタックとカフスセット提供	済	○
22	H27.11.5	黒瀬町自治会	第62回式年遷宮にて使用した子供奉曳車をレセプション会場等での展示のため貸与	済	○
23	H27.11.6	株式会社赤福	レセプション開催時の「赤福茶屋」出展	済	○
24	H27.11.6	松阪牛協議会	レセプション開催時の各種商品提供	済	○
25	H27.11.6	日本トランスシティ株式会社	外国語ボランティアの派遣(20~30人程度)	済	○
26	H27.11.10	マイスターコーティング鈴鹿店	県民会議が行うイベントのトイレなどをコーティングする技術を提供	済	○
27	H27.11.12	JAグループ三重	イベント・レセプション等へ伊勢茶ペットボトルを3,310本提供	済	○
28	H27.11.13	株式会社電通名鉄コミュニケーションズ	各種アイテムのデザインやイメージの統一化を図るため伊勢志摩サミット共通デザインを提供	済	○
29	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	県民会議のクリーンアップ活動に参加(約100名規模)	済	○
30	H27.11.16	株式会社三重興農社	飾花用のプランターを150個程度提供	済	○
31	H27.11.17	—	—	済	後日公表
32	H27.11.17	株式会社大洋工芸	イベント等でパネルなどを展示する際に必要な展示用ボードを無償提供	済	○
33	H27.11.20	おぼろタオル株式会社	サミット関連事業の参加者等へフェイスタオル500枚を提供	済	○
34	H27.12.1	—	—		○
35	H27.12.2	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	複合型(風力・太陽光)の街路灯を10基提供	済	○
36	H27.12.8	—	—		○
37	H27.12.8	三重県森林組合連合会	カウントダウンボード(小)×1基、(大)×2基の提供	済	○
38	H27.12.8	有限会社森と水を守る会	各種会場等へ「森の番人」ペットボトル500ml×5,000本提供	済	○
39	H27.12.17	—	—		○
40	H27.12.17	—	—		○
41	H27.12.17	—	—		○
42	H27.12.17	—	—		○
43	H27.12.17	—	—		○
44	H27.12.17	—	—		○
45	H27.12.17	—	—		○
46	H27.12.17	—	—		○
47	H27.12.17	—	—		○
48	H27.12.17	—	—		○
49	H27.12.17	—	—		○
50	H27.12.17	—	—		○
51	H27.12.17	—	—		○
52	H27.12.18	—	—		○
53	H27.12.21	—	—		○
54	H27.12.21	—	—		○
55	H27.12.21	—	—		○
56					
57					
58					
59					
60					

【応援】

申請件数 361
うち登録件数 297

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っぴいこうぜ運営委員会	志摩の魅力動画番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノリサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAグループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	麒麟ビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	H27.9.4	—	—	済	×
15	H27.9.4	—	—	済	×
16	H27.9.4	—	—	済	×
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	H27.9.9	エールアドエイジェンシー合同会社	北勢エリアの社員募集情報誌へのポスターの無料掲載	済	○
19	H27.9.9	—	—	済	×
20	H27.9.10	アサヒビール株式会社 中部統括本部	伊勢志摩サミットラベル商品の販売および売上1本につき1円を寄附	済	○
21	H27.9.10	アサヒビール株式会社 中部統括本部	松阪牛や東紀州の真鯛等が当たるキャンペーンの実施	済	○
22	H27.9.10	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
23	H27.9.11	株式会社第三銀行	伊勢志摩サミット開催記念定期を販売し、抽選で特産品等をプレゼント	済	○
24	H27.9.14	株式会社百五銀行	伊勢志摩サミット記念定期預金を販売し、抽選で近鉄しまかぜツアープレゼント	済	○
25	H27.9.15	株式会社百五銀行	主要14ヶ店のロビーにWi-Fiを整備する	済	○
26	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)壁面にサミットポスター掲出	済	○
27	H27.9.17	三重交通グループホールディングス株式会社	サミットデザインの缶バッジを作成し、グループ11社の社員が着用	済	○
28	H27.9.17	株式会社百五銀行	クレジットカードを一定額以上利用した方から抽選で伊勢志摩地域のレストラン食事券プレゼント	済	○
29	H27.9.18	—	—	済	×
30	H27.9.18	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 三重県支部	サミット開催記念のCall Signを取得後、国内外のアマチュア無線局と文信し三重県をPR	済	○
31	H27.9.18	伊藤印刷株式会社	伊勢志摩サミット開催記念応援グッズ(缶バッジ・三重県旗・シール)を販売し、売上の一部を寄附	済	○
32	H27.9.24	特定非営利活動法人ほがらか絵本畑	伊勢志摩サミットを機会に海外を身近に感じるため、絵本を使った勉強会やセミナーを実施	済	○
33	H27.9.24	日本ボーイスカウト 伊賀第1団 カブ隊	伊勢志摩サミットに関する子ども向け学習会実施(テーマ:世界の国々に)	済	○
34	H27.9.25	まちづくり団体 楽笑(Raku-Sho)	志摩発の女性会議:伊勢志摩女子サミットG7(ガールズセブン)を開催	済	○
35	H27.9.25	株式会社百五ディーシーカード	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約8,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
36	H27.9.28	株式会社第三銀行	本店(特に県外店舗)ロビーに「伊勢志摩サミット2016」のポスターを掲示	済	○
37	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「世界のリーダーたちが三重に」7/5放送(インターネットでの公開9/16~)	済	○
38	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「県民みんなで盛り上げよう伊勢志摩サミット」8/21放送(インターネットでの公開10月予定)	済	○
39	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミット特設ウェブサイトの開設	済	○
40	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミットの問題を重点的に紹介する「伊勢志摩サミット応援ウィーク」の実施	済	○
41	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	三重テレビのスタジオに卓上サミット告知プレートを設置	済	○
42	H27.9.29	神風講社雅楽部	伊勢志摩サミット開催を雅楽演奏会のポスターに掲載し、会場内に横断幕を掲揚する。	済	○
43	H27.9.29	NTN株式会社	近鉄線沿いの建屋壁面に横断幕2枚(伊勢志摩サミット、ジュニアサミット各1枚)を設置	済	○
44	H27.9.29	株式会社青葉	天然ミネラルウォーターのペットボトルに「伊勢志摩サミット」応援文字を貼付。売上の一部を寄附。	済	○
45	H27.9.29	近鉄グループホールディングス株式会社	近鉄各駅、近鉄GHD各社等で、ポスター(県民会議製作分および自主製作分)掲出など	済	○
46	H27.9.30	株式会社百五銀行	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約15,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
47	H27.9.30	三重畜産有限会社	サミット応援商品の開発、販売で三重県産牛・豚の魅力をPR	済	○
48	H27.9.30	鳥羽志摩農業協同組合	鳥羽志摩地域の農産物を使用した「G7ランチプレート」の販売	済	○
49	H27.10.1	株式会社第三銀行	ホームページでサミット開催までの日数をカウントダウン	済	○
50	H27.10.1	伊勢鉄道株式会社	全車両のドア内側上部に三重県地域連携部が作成したサミット開催ステッカーを掲示	済	○
51	H27.10.2	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	ビジュアルの統一された応援ツールを作成し、地域を伊勢志摩サミット一色に彩るプロモーション事業を行う。	済	○
52	H27.10.2	株式会社コイサズ	三重の食材を利用したパンを毎月3種類販売(7か月)、28年5月には全21種類一斉販売	済	○
53	H27.10.5	株式会社TA西村	瞬間冷凍した三重県の特産物に「祝 伊勢志摩サミット開催」などのシールやステッカーを貼る	済	○
54	H27.10.5	伊勢志摩真珠館	「伊勢志摩サミット お祭り広場」として伝統工芸・文化、伊勢志摩特産品等の販売	済	○
55	H27.10.5	株式会社ダイレクトカーズ	尾翼にミニ家具と伊勢型紙を使用したオリジナルカーを「伊勢志摩サミット開催記念車」としてイベント等で展示	済	○
56	H27.10.5	東邦ガス株式会社 三重支社	①折り込みチラシ・手配りチラシに伊勢志摩サミットをPR②ガス展示場へのポスター掲示	済	○
57	H27.10.6	石田鉄工株式会社	①アコヤ真珠貝殻入り景観グレーティングを開発②グレーティングカタログにサミットポスターを掲載	済	○
58	H27.10.7	石田鉄工株式会社	①展示会(東京ビックサイトなど)自社ブース内にポスター掲示②社内にもポスター掲示	済	○
59	H27.10.7	鳥羽シーサイドホテル株式会社	フロントロビーやホームページでのサミットPR実施や、館内全室WiFi設置など	済	○
60	H27.10.7	鳥羽観光会館ビル株式会社	①鳥羽1番街建物へ「サミット歓迎」懸垂幕②1階コンシェルジュでサミット案内業務実施	済	○
61	H27.10.7	皇学館大学	NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー「うまし国 伊勢志摩の神話と日本文化」実施	済	○
62	H27.10.8	鳴海製陶株式会社/三重ナミ株式会社	「伊勢志摩サミット招致決定記念」として伊勢志摩発のメモリアルギフト等の新製品を開発	済	○
63	H27.10.8	株式会社柿安本店	グループ約300店舗で「サミット開催記念 美し国三重県フェア」として業態に合わせたオリジナルメニュー開発	済	○
64	H27.10.9	日本通運株式会社 三重支店 伊勢営業所	各拠点へのポスター掲示および従業員の名刺へのロゴ記載によるサミット開催PR	済	○
65	H27.10.9	一般社団法人三重県建設業協会	伊勢志摩サミット応援ポスターを作成し、会員企業の事務所や工事現場に掲示	済	○
66	H27.10.13	一般社団法人三重県産業廃棄物協会	伊勢志摩地域の産業廃棄物不法処理防止パトロール及び不法投棄撤去作業	済	○
67	H27.10.13	北伊勢上野信用金庫	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
68	H27.10.13	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援メッセージを記載した県内茶試供品の配布	済	○
69	H27.10.13	いせ毎日会・毎日新聞伊勢支局	「伊勢まつり」にブース出展を行い、伊勢志摩サミットをPR	済	○
70	H27.10.14	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	関西地区の直営店30店舗、提携店約50店舗に伊勢志摩サミットポスターを掲示	済	○
71	H27.10.14	三重テレビ放送株式会社	津まつりの三重テレビブースで「伊勢志摩サミットにちなんだぬい絵」の実施	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
72	H27.10.14	株式会社NTTドコモCS東海 三重支店	県内ドコモショップ39店舗での伊勢志摩サミットポスターの掲出	済	○
73	H27.10.15	まちなか文化祭実行委員会	「まちなか文化祭」当日に配布するチラシ等でサミット開催をPR	済	○
74	H27.10.15	三重県市町村職員共済組合	三重市町村会館および「サンペルラ志摩」でポスターの掲示・リーフレット据え置き	済	○
75	H27.10.15	三岐鉄道株式会社	駅および車内への伊勢志摩サミットポスターおよび三重県地域連携部作成ステッカーの掲出	済	○
76	H27.10.16	株式会社上田新工業	会社入口に伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
77	H27.10.16	株式会社上田新工業	ホームページに「伊勢志摩サミット開催を応援しています」文言、シンボルマークを掲載	済	○
78	H27.10.16	三重軌鬼株式会社	地元中学校での出前講座で使用するパワーポイントにシンボルマーク掲載	済	○
79	H27.10.16	三昌物産株式会社	自社カタログ等にサミットポスター掲載、商品にも統一シンボルマークを貼付	済	○
80	H27.10.19	—	—	済	×
81	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	購読者部数約10万部の伊勢新聞でカウントダウン広告掲載	済	○
82	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	伊勢志摩サミット開催200日前にあたる11月8日に別刷で伊勢志摩サミット特集を実施	済	○
83	H27.10.19	株式会社ビーズブレイクコーポレーション	販売物(餃子、餃子のたれ、みそだれなど)にシンボルマークを貼付	済	○
84	H27.10.19	はあと福祉タクシー	チラシ、ホームページに「伊勢志摩サミットを応援しています」の文言、売上の一部を寄附	済	○
85	H27.10.19	有限会社観光旅館 福寿荘	サミットに合わせた客室のリニューアルおよびイメージチラシにシンボルマークを使用	済	○
86	H27.10.19	株式会社ミエライス	米袋にシンボルマークを掲載	済	○
87	H27.10.19	三交興業株式会社	名阪関ドライブイン、名阪上野ドライブインの入口看板にシンボルマークを掲載	済	○
88	H27.10.20	津市ボランティア協議会	つ・環境フェスタで缶バッジつくりコーナーを出展し、そこでシンボルマークの線画を用意	済	○
89	H27.10.20	糸川屋製菓株式会社	商品にシンボルマークを掲載	済	○
90	H27.10.20	東邦ガス株式会社 三重支社	名刺にシンボルマーク掲載	済	○
91	H27.10.20	イオンリテール株式会社	三重県内のイオン9店舗で三重県産品の販売や観光情報発信などのイベント実施	済	○
92	H27.10.20	三重県信用金庫協会	「三重県しんきんレポート」へ応援メッセージの掲載	済	○
93	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	三重県内全店舗へのカウントダウンボード設置	済	○
94	H27.10.21	JAグループ三重	三重県内厚生連病院院内モニターにて「伊勢志摩サミットを応援しています」旨のPR	済	○
95	H27.10.21	有限会社居酒屋ふぐや	サミット応援商品(食事メニュー)を開発し、売上の一部を寄附	済	○
96	H27.10.21	ヒストリックカーミーティング実行委員会	伊勢志摩サミットのイベントとして「CLASSIC CAR SUMMIT」を開催しサミットをPR	済	○
97	H27.10.21	三重県漁業協同組合連合会	①魚等の出荷に使用する箱にサミットをPRするシールを貼付 ②事務所にポスターを掲示	済	○
98	H27.10.22	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	全都道府県の国内拠点1,204か所で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
99	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえのうまいもん物産展におけるポスター展示等	済	○
100	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえまるごと物産展におけるポスター展示及びPRブースの設置	済	○
101	H27.10.22	三重県商工会連合会	三重県商工会大会における大会誌への伊勢志摩サミットPR及びパンフレット配布	済	○
102	H27.10.22	三重県商工会連合会	商工会全国大会におけるPR資料の配布及びPRブースの設置	済	○
103	H27.10.22	三重県商工会連合会	全国物産展におけるPRブースの設置	済	○
104	H27.10.22	ハナ代エン지니어リング株式会社 名古屋支店	本社を含む全支店に伊勢志摩サミットポスターならびに応援メッセージを掲載	済	○
105	H27.10.23	臼井織布株式会社	①応援商品の開発、シンボルマークを使用したシールを商品へ貼付②ポスターの掲出	済	○
106	H27.10.23	三重県馬事畜産振興協議会	「三重の馬い畜産物大抽選会」の告知に併せサミット応援メッセージを記載およびHPでの告知実施	済	○
107	H27.10.23	日本バーテンダー協会三重県本部三重支部	三重支部の会員店舗40店舗でサミットポスター掲出	済	○
108	H27.10.23	—	—	済	×
109	H27.10.23	伊勢形紙協同組合	「匠の里・伊勢型紙フェスタ」会場におけるサミットポスターの掲示	済	○
110	H27.10.23	有限会社ウラケイパール	商品や看板へシンボルマークを表示	済	○
111	H27.10.23	株式会社百五銀行	全店舗のロビー(一部店舗を除く)にカウントダウンボードを設置	済	○
112	H27.10.23	株式会社百五銀行	役職員の名刺にシンボルマークを表示	済	○
113	H27.10.26	中部電力株式会社 三重支店	独自でカウントダウンボードを製作し、自社施設へ設置	済	○
114	H27.10.26	志摩市観光協会	「御食つ国・志摩 年末海都市」にて伊勢えびなど県産食材の発信と伊勢志摩サミットをPR	済	○
115	H27.10.26	志摩市観光協会	「海女小屋体験施設 さとうみ庵」通常料金3,500円を3,310円(サミット)で提供	済	○
116	H27.10.26	志摩市観光協会	志摩市観光協会会員(会員数452)へ向けてポスター掲示依頼	済	○
117	H27.10.26	志摩市観光協会	①ホームページへサミット開催に伴う情報掲載②会員が開発したサミット関連商品情報を掲載	済	○
118	H27.10.26	志摩市観光協会	「伊勢志摩ふるさと交流会」内でのポスター配布	済	○
119	H27.10.26	志摩市観光協会	「わらじ祭り」でサミット開催記念のぼり旗を設置しサミットをPR	済	○
120	H27.10.26	NTT西日本三重支店	名刺・封筒・クリアファイルにシンボルマーク(シール)を貼付して開催をPR	済	○
121	H27.10.27	三重エフエム放送株式会社	「浜瀬のラジオ魂」伊勢志摩サミット200日前スペシャルで、取組、県民の声、経済効果など放送	済	○
122	H27.10.27	株式会社百五銀行	「百五観光アカデミー おもてなしコンサル」開催	済	○
123	H27.10.27	NTT西日本三重支店	「Free-WiFi-MIE」のアクセスポイントの充実および無料利用時間の拡大	済	○
124	H27.10.27	マックスバリュ中部株式会社	サミット応援商品にシンボルマークを貼付	済	○
125	H27.10.27	中日新聞社広告局	サミット開催100日前特集記事および対談紙面を掲載	済	○
126	H27.10.27	伊勢志摩俳句サミット協議会	伊勢志摩サミットを応援する俳句大会を開催	済	○
127	H27.10.27	全国尾鷲節コンクール実行委員会	「全国尾鷲節コンクール」の開催ポスター、パンフレットでサミットをPR	済	○
128	H27.10.28	第三カードサービス株式会社	「ご利用明細書」(毎月約7,000〜8,000通)およびホームページへ寄付金募集の案内を掲載	済	○
129	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	本社へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
130	H27.10.28	津市指定無形文化財 白塚獅子舞保存会	保存会事務所へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
131	H27.10.28	有限会社 龍宮	シンボルマークを利用したポスター、POP、商品タグ等を制作しPR	済	○
132	H27.10.28	三重トヨペット株式会社	試乗車・社用車に応援メッセージ入りステッカーを掲示など9企画実施	済	○
133	H27.10.28	協同組合オールニッポンギフト	ギフトカタログの表紙にシンボルマークを掲載	済	○
134	H27.10.28	三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」	「男女共同参画フォーラム」にてポスター掲示およびパンフレットへのシンボルマーク表示	済	○
135	H27.10.28	—	—	済	後日公表
136	H27.10.29	株式会社ホクキャスト	シンボルマークをデザインしたグレーチングを開発	済	○
137	H27.10.29	北伊勢上野信用金庫	ウインターキャンペーンのチラシに「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
138	H27.10.29	ポートレース津	伊勢志摩サミット開催記念「全国ご当地大集合サミット」を開催	済	○
139	H27.10.29	株式会社三重銀カード	「ご利用明細」およびホームページに寄附についての告知表記を掲載	済	○
140	H27.10.30	—	—	済	後日公表
141	H27.10.30	三重県産業廃棄物対策推進協議会	三重県鳥羽市笠志島奈佐の浜での伊勢湾漂着ゴミ海岸清掃活動	済	○
142	H27.10.30	NPO法人三重補助犬普及協会	「つ・環境フェスタ」「いせトピア」でポスターシンボルマーク等でPR	済	○
143	H27.10.30	イオンモール東員	シンボルマークを使用したサミット応援グッズを作成	済	○
144	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR・クーポン袋(10万部作成)を活用した伊勢志摩サミット三重県開催告知	済	○
145	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR時刻表(3,500部)への伊勢志摩サミット三重県開催広告掲載	済	○
146	H27.11.2	—	—	済	×

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
147	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミスユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミットカウントダウンブログ」	済	○
148	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	自社館内に「伊勢志摩サミット応援」のぼり旗設置	済	○
149	H27.11.2	社会福祉法人洗心福祉会	法人が運営する県内約100事業所に「伊勢志摩サミット2016」ポスターを掲示	済	○
150	H27.11.2	赤塚グループ(株式会社赤塚植物園、株式会社赤塚、株式会社エフエフジャパン)	店頭に横断幕やのぼり旗を設置するとともに情報誌などへ掲載	済	○
151	H27.11.2	南長野12志会	「伊勢志摩サミット 日本のおもてなし」をテーマにした南長野イルミネーション2015	済	○
152	H27.11.2	—	—	済	後日公表
153	H27.11.2	中島製茶株式会社	自社製品にシンボルマークラベルを貼付て販売	済	○
154	H27.11.4	有限会社アンドウセイ	名刺にシンボルマークシールを入れる	済	○
155	H27.11.4	株式会社第三銀行	役職員の名刺にシンボルマークシールを貼付	済	○
156	H27.11.4	株式会社総本家貝新新七商店	商品にシンボルマークを貼り、サミットを応援	済	○
157	H27.11.4	NEMU HOTEL & RESORT	TV放映CM内で「2016年5月伊勢志摩サミットの応援事業」のテロップを表示	済	○
158	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「伊勢志摩サミット」応援ファンドの取扱	済	○
159	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「事業者向けフリーローン・クイック」金利優遇キャンペーン	済	○
160	H27.11.4	株式会社三重銀行	デジタルサイネージを活用した、サミット開催までのカウントダウン表示	済	○
161	H27.11.4	株式会社三重銀行総研	リージョネット三重「伊勢志摩サミット応援キャンペーン」の実施	済	○
162	H27.11.4	サラヤ株式会社	名刺、カタログ、ホームページ等でシンボルマークを使用	済	○
163	H27.11.4	三重北農業協同組合	ペットボトルのフィルムに開催応援とシンボルマーク掲載	済	○
164	H27.11.5	細川酒造株式会社	「三重路上馬ビール」等の商品にシンボルマークを貼り、開催を広く周知	済	○
165	H27.11.5	ゆくりかレコーズ	楽曲「海と真珠と神様と」(メルヘン堂)の伊勢志摩サミットタイアップ曲	済	○
166	H27.11.5	—	—	済	後日公表
167	H27.11.5	株式会社百五銀行	「飲食店の外国人受入準備セミナー」を開催	済	○
168	H27.11.5	株式会社第三銀行	41営業店内にカウントダウンボード表示(営業店内デジタルサイネージ表示)	済	○
169	H27.11.6	HEAL IN 四日市	自社ホームページに伊勢志摩サミットホームページのリンクを貼付	済	○
170	H27.11.6	紀北町観光協会	紀伊長島マンボウ内 紀北町観光サービスセンター壁面にカウントダウンボード設置	済	○
171	H27.11.6	—	—	済	○
172	H27.11.6	洋菓子ナポレオン	①自社商品にシンボルマークシールを貼付②店頭でサミットポスター掲示	済	○
173	H27.11.6	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援シールを役職員の名刺の貼付	済	○
174	H27.11.6	JAグループ三重	HPへのカウントダウン表示と伊勢志摩サミットHPへのリンクを貼付	済	○
175	H27.11.6	JAグループ三重	第42回JA三重大会記念品への伊勢志摩サミット応援メッセージの記載	済	○
176	H27.11.9	桑名信用金庫	冬のボーナス「ウィンターキャンペーン」への応援メッセージの掲載	済	○
177	H27.11.9	桑名信用金庫	小学生以下を対象とした「子供用通帳」開設キャンペーンチラシに応援メッセージを掲載	済	○
178	H27.11.9	三重県鶏卵販売農業協同組合	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
179	H27.11.9	一般社団法人三重県配給料価格安定基金協会	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
180	H27.11.9	ヤマナカフーズ株式会社	商品にシンボルマークラベルを添付し販売	済	○
181	H27.11.9	NPO法人天満満百人会	天満荘において①サミット開催をPRする行燈を設置②サミットポスターを掲示	済	○
182	H27.11.9	みえリーディング産業展2015実行委員会	「みえリーディング産業展2015」にて「伊勢志摩サミット開催記念クイズ大会」を開催	済	○
183	H27.11.9	株式会社三重県松阪食肉公社	伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
184	H27.11.9	三重県賃貸住宅経営者協会	「賃貸経営セミナー」での伊勢志摩サミットPR(講演会開催)	済	○
185	H27.11.10	丸之内商店街振興組合	2015年歳末大売り出しで各加盟店がサミット応援セールを実施	済	○
186	H27.11.10	三重交通グループホールディングス株式会社	ホームページへ①応援メッセージ②カウントダウン③シンボルマークを表示	済	○
187	H27.11.10	三重県社会福祉センター協議会・社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成27年度東海北陸社会福祉センター研究協議会三重大会の冊子にシンボルマークを掲載	済	○
188	H27.11.10	—	—	済	×
189	H27.11.10	株式会社サン・シャイン	のぼり、ジャンパー(すべて新日本工業製作)を使用しサミットをPR	済	○
190	H27.11.10	—	—	取下	×
191	H27.11.10	株式会社第三銀行	お客様配布用のカレンダーにサミット開催日までのカウントダウン表示	済	○
192	H27.11.10	三重県信用保証協会	①本支店の各フロアにポスター掲示②名刺にシンボルマーク③封筒などにシンボルマーク	済	○
193	H27.11.10	富士ゼロックス三重株式会社	「観光サービス支援Solution Fair 2015」のお客様への案内チラシにシンボルマーク掲載	済	○
194	H27.11.11	株式会社クラユニコーポレーション	ホームページ、名刺、商品チラシへサミット応援メッセージの掲載	済	○
195	H27.11.12	株式会社トーエネック 三重支店	三重県内にある10事業場の玄関周辺にサミットのぼりを設置	済	○
196	H27.11.12	NTN株式会社 産業機械事業本部	伊勢志摩サミット・ジュニアサミットPRを目的とした横断幕設置	済	○
197	H27.11.13	池坊 伊勢支部	JR伊勢市駅内の展示スペース①いけ花をサミットに向けて充実②ポスター掲示	済	○
198	H27.11.13	北伊勢上野信用金庫	定期預金満期案内のメッセージ欄に「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
199	H27.11.13	アサヒビール株式会社 中部統括本部	グループ会社の飲食店舗および周辺にサミットポスター掲示	済	○
200	H27.11.13	鈴鹿花き温室組合	第33回品評会テーマを「フラワーサミットin鈴鹿～サミットの机を飾る花～」とし、ポスター掲示	済	○
201	H27.11.13	大内山酪農農業協同組合	大紀公園の牛乳パックモニュメント正面に応援メッセージとシンボルマークを表示	済	○
202	H27.11.13	—	—	済	×
203	H27.11.13	—	—	済	×
204	H27.11.13	—	—	済	○
205	H27.11.13	三重県真珠養殖連絡協議会	全国尾鷲節コンクールに「伊勢志摩サミット特別賞」として真珠製品を提供し、サミットをPR	済	○
206	H27.11.16	中部電力株式会社 三重支店	電柱広告へサミット応援メッセージとシンボルマークを掲載	済	○
207	H27.11.16	中部電力株式会社 三重支店	従業員の名刺に「サミット応援メッセージとシンボルマーク」シールを貼付	済	○
208	H27.11.16	ビジネス・INN・フェニックス	フロントが伊勢志摩サミットのブルゾン(新日本工業製作)を着用	済	○
209	H27.11.16	富士ゼロックス三重株式会社	名刺裏面にサミット開催案内とシンボルマーク掲載	済	○
210	H27.11.16	株式会社一号館	広告に日程案内とシンボルマーク掲載、商品パッケージにシンボルマーク貼付	済	○
211	H27.11.16	(公財)三重県生活衛生営業指導センター	旅館ホテル・飲食店・理美容等の業者を対象に「おもてなし研修」を実施	済	○
212	H27.11.16	(公財)三重県生活衛生営業指導センター	旅館ホテル・飲食店・理美容等の業者を対象に「衛生管理研修」を実施	済	○
213	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	加盟店舗を「おもてなし えいせい サービスステーション「OSSS」」として道案内およびトイレを提供	済	○
214	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	シンボルマークを掲載した「おもてなし えいせい サービスステーション「OSSS」」ポスターを加盟店舗に掲示	済	○
215	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	加盟店舗に分煙の表示を推進	済	○
216	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	県民会議作成の伊勢志摩サミットポスターを加盟店舗に掲示	済	○
217	H27.11.16	小林 美智代	伊勢志摩サミット応援歌オリジナルCD・DVDにシンボルマーク表示	済	○
218	H27.11.16	—	—	済	後日公表
219	H27.11.16	株式会社CBCテレビ	小学生の親子を対象とした三重伝統工芸ワークショップを開催し、サミットをPR	済	○
220	H27.11.16	THK株式会社 三重工場	①工場内にサミットポスター掲示②缶バッジを作成し工場従業員が着用	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
221	H27.11.17	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	みえリーディング産業展2018にて「伊勢志摩サミット応援ツール制作センター」のPRコーナーを設置	済	○
222	H27.11.17	年末・きいながしま港市実行委員会	年末・きいながしま港市で、出品希望業者によるサミット記念商品の販売と専用ポップの掲示	済	○
223	H27.11.17	—	—	済	○
224	H27.11.17	日本郵便株式会社 東海支社	三重県、愛知県、岐阜県、静岡県郵便局窓口ロビー等へサミットポスター掲出	済	○
225	H27.11.17	有限会社伊勢文化舎	「ばるく伊勢志摩」でサミットの話題を継続的に取り上げるとともにシンボルマーク掲載	済	○
226	H27.11.17	株式会社橋本屋徳兵衛	自社商品にシンボルマークを貼付	済	○
227	H27.11.17	NEMU HOTEL & RESORT	ポスター掲示、伊勢志摩サミット開催決定記念プランの販売	済	○
228	H27.11.19	—	—	済	後日公表
229	H27.11.19	鳥羽商工会議所	新春講演会で①「観光地の国際」をテーマとする②チラシにシンボルマーク	済	○
230	H27.11.19	三重県職員信用組合	ディスクロージャー誌の表紙に賢島の風景、裏面にシンボルマークを表示	済	○
231	H27.11.19	中日高速道路株式会社 名古屋支社 桑名保安サービスセンター	高速道路のサービスエリアにシンボルマークを表示したカウントダウンボード設置	済	○
232	H27.11.20	株式会社伊藤園	「お茶で三重を美しく。」キャンペーンを実施し、サミット前の「伊勢湾再生」等の環境保全活動に貢献	済	○
233	H27.11.20	井村屋グループ株式会社	近鉄名古屋駅構内に伊勢志摩サミット開催をPRする広告を掲示	済	○
234	H27.11.20	株式会社柿安本店	伊勢志摩の食材を活用したセミナーにおいて、会場内にポスター及びのぼり掲示	済	○
235	H27.11.24	株式会社津松菱	①店内にポスター掲示 ②店内放送 ③折込広告にカウントダウン掲載 ④カウントダウンボード設置	済	○
236	H27.11.24	株式会社朝日屋	第68回松阪肉牛共進会において優秀賞1席に選ばれた出品牛をサミット価格3,310万円で落札	済	○
237	H27.11.24	荒川制服株式会社	シンボルマークを名刺に貼付	済	○
238	H27.11.24	—	—	取下	×
239	H27.11.24	有限会社バイテック	①サミット応援ポスターの制作、掲示②サミット開催応援イベントの実施と記念セーラー	済	○
240	H27.11.25	割烹ヤマニ	伊勢志摩サミット開催応援歌「三重のシンボル小唄」を作曲、演奏	済	○
241	H27.11.25	商工中金(津支店、四日市支店)	東海地区5店舗にサミットポスター掲示②職員名刺およびノベルティにシンボルマークシール貼付	済	○
242	H27.11.25	株式会社三重寿庵	商品のパッケージ、販促物にシンボルマーク貼付	済	○
243	H27.11.25	国立大学法人三重大学	サミットの開催に合わせて「環境・省エネに貢献するスマートキャンパス国際シンポジウム」を開催	済	○
244	H27.11.25	水King株式会社 中部支店	社内報にシンボルマーク、ポスター、応援メッセージを掲載	済	○
245	H27.11.25	—	—	取下	×
246	H27.11.25	株式会社第三銀行	情報配信サービス「LINE@第三銀行」でサミット応援メッセージを配信	済	○
247	H27.11.25	読売新聞中部支社	伊勢志摩サミットを紹介する特集記事を掲載	済	○
248	H27.11.26	株式会社稲藤	店舗等にポスターを掲示	済	○
249	H27.11.26	JAグループ三重	三重県下JAの店舗内モニターにてカウントダウン表示を付した応援メッセージ画像を放映	済	○
250	H27.11.26	美しい森林づくり全国推進会議、公益社団法人国土緑化推進機構、ハートツリー株式会社	映画「うみやまあひだ」のチャリティ上映会やトークショー等の開催時に伊勢志摩サミットをPRなど	済	○
251	H27.11.26	三重交通グループホールディングス株式会社	グループ情報誌の裏表紙にシンボルマークと応援メッセージを掲載	済	○
252	H27.11.26	三交不動産株式会社	自社テナントビルである「三重会館」1階にサミットポスター掲出	済	○
253	H27.11.26	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構	ホスピタリティ向上のための「和食」研修会を開催、会場建物にポスターおよびのぼり掲出	済	○
254	H27.11.26	四日市商工会議所女性部	四日市商工会議所女性部会員事業所(90社)の店頭にてサミットポスター掲示	済	○
255	H27.11.26	三重フィルハーモニー交響楽団	演奏会の告知ポスター・リーフレットにシンボルマークを掲載	済	○
256	H27.11.27	石原 健哉	伊勢志摩サミット開催記念「光の芸術 石原健哉 花火写真展」を開催し収益の一部を寄附	済	○
257	H27.11.30	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	伊勢志摩サミット公式ポスターの三重県内のNTN各事業所への掲示	済	○
258	H27.11.30	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	東京ビックサイトの展示会に出展するブースにポスターを掲示	済	○
259	H27.11.30	—	—	済	後日公表
260	H27.11.30	株式会社稲藤	サミット応援商品を開発し、シンボルマークシールを貼付	済	○
261	H27.11.30	三重県ピーシーエー協会	ホームページトップ画面にシンボルマーク掲載	済	○
262	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	役職員の名刺にシンボルマーク掲載	済	○
263	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	サミット特設ページの中にシンボルマーク掲載	済	○
264	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	三重テレビの番組を紹介する冊子にシンボルマークを掲載	済	○
265	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	三重テレビ自社制作番組でのカウントダウンボード設置	済	○
266	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社、公益財団法人三重県文化振興事業団	伊勢志摩サミットイメージソングの制作(歌詞は募集)	済	○
267	H27.11.30	—	—	済	後日公表
268	H27.11.30	中部電力株式会社 三重支店	三重テレビ放送、FM三重と連携して運営する「ゲンキ3ネット」でサミット特設サイトを新規に制作	済	○
269	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	中部電力、FM三重と連携して運営する「ゲンキ3ネット」でサミット特設サイトを新規に制作	済	○
270	H27.11.30	—	—	済	○
271	H27.11.30	鳥羽志摩農業協同組合	「伊勢志摩サミット開催決定記念特別企画 加茂牛G7とばーがー」の実施	済	○
272	H27.11.30	株式会社ナミカワ	店頭カウンタおよび接客コーナーへサミットポスター掲示	済	○
273	H27.11.30	株式会社ナミカワ	シンボルマークと開催期間を印刷したシールを名刺、封筒、会社案内、カタログへ貼付	済	○
274	H27.11.30	一般財団法人言語交流研究所 ヒップファミリークラブ	教育講演会「7か国語で話そう。」実施およびチラシにシンボルマーク掲載	済	○
275	H27.12.1	株式会社イチミ	伊勢志摩サミットの開催日とシンボルマークをPRするポスターを顧客へ配布	済	○
276	H27.12.1	桑原鋳工株式会社	サミット応援商品として、シンボルマークを入れた鋳鉄瓶を製作、販売	済	○
277	H27.12.1	—	—	済	○
278	H27.12.1	三重県中小企業団体中央会	ポスターや機を掲示、会員向けに機関誌・ホームページ・メール配信などでサミットを周知	済	○
279	H27.12.1	特定非営利活動法人いこいの森	伊勢志摩サミット応援企画として日本の伝統文化「和風」に各国首脳の似顔絵を描き展示	済	○
280	H27.12.2	ナカムラ産業有限会社	伊勢志摩特産物の商品パッケージにシンボルマークラベル貼付	済	○
281	H27.12.2	株式会社中広	「さみっとくらぶ」巻頭特集で、地元住民向けにサミット情報を発信	済	○
282	H27.12.2	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	近鉄名古屋線、JR関西線から見える社屋最上階にジュニアサミットの横断幕を設置	済	○
283	H27.12.2	日本太鼓財団 三重県支部	県内5〜8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
284	H27.12.2	四日市諏訪太鼓 龍雅	県内5〜8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
285	H27.12.2	業平夢太鼓	県内5〜8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
286	H27.12.2	美杉連山のろし太鼓保存会	県内5〜8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
287	H27.12.2	響座	県内5〜8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
288	H27.12.3	やすらぎくんネット	第15回鈴鹿川流域の環境展会場においてサミットポスター掲示	済	○
289	H27.12.3	株式会社野田米菓	志摩産の伊勢海老を使ったあられを新発売し、POPに応援メッセージ掲載	済	○
290	H27.12.3	三重リコビー株式会社	「Value Presentation 2015」会場にサミットコーナーを設置し、ポスター+ビデオでPR	済	○
291	H27.12.3	横山桜会、七栗村	①サミット応援ラベルを貼り付けた商品を販売②「横山さくらまつり」でサミットをPR	済	○
292	H27.12.4	中部電力株式会社 三重支店	伊勢志摩サミット応援イベント〜「親子で学ぶ!世界一楽しい授業」実施	済	○
293	H27.12.4	三重県漁業協同組合連合会	洞爺湖サミットの開催地である北海道と連携して「サミット連携 北海道・三重県お魚大物産展」を開催	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
294	H27.12.4	有限会社べんのや酒店	伊勢志摩サミット限定酒「G7/M(ジーセブンスラッシュエム)」の発売	済	○
295	H27.12.7	—	—	済	後日公表
296	H27.12.7	—	—		○
297	H27.12.7	株式会社サガミチェーン	県内店舗にてサミットポスター掲出	済	○
298	H27.12.7	—	—		○
299	H27.12.7	株式会社戸田屋	①サミット参加7か国の料理フェア②サミット決定記念プラン発売③サミットポスター掲出	済	○
300	H27.12.7	株式会社明和ブラテック	本社、支店、営業所の各事業所へサミットポスター掲出	済	○
301	H27.12.7	株式会社京口屋	サミット開催記念として、サミットに関連する冷媒フロン破壊費用を優遇する取組を実施	済	○
302	H27.12.8	三重県生涯学習センター	「三重県生涯学習センター3階 情報コーナー みるシル」にポスター掲示	済	○
303	H27.12.8	有限会社観光旅館 福寿荘	年賀はがきや名刺にシンボルマーク掲載	済	○
304	H27.12.8	サントリー酒類株式会社	サミット応援キャンペーンを実施し、キャンペーン告知ツールにシンボルマークを掲載	済	○
305	H27.12.8	株式会社読売情報開発	「伊勢志摩サミット開催記念」オープン懸賞を実施	済	○
306	H27.12.8	株式会社ダスキン 東海・北陸地域本部	三重オリジナルデザインの商品を製造販売し、チラシにサミット応援メッセージ掲載	済	○
307	H27.12.8	昭和印刷株式会社	千羽鶴折り方型紙の製作販売、桑名駅前大型ビジョンで千羽鶴協賛広告企画・応援メッセージ掲載	済	○
308	H27.12.8	三重交通株式会社	名刺に応援メッセージとシンボルマーク掲載	済	○
309	H27.12.9	—	—		後日公表
310	H27.12.9	—	—		○
311	H27.12.9	—	—		○
312	H27.12.9	—	—		○
313	H27.12.9	—	—		○
314	H27.12.9	—	—		○
315	H27.12.10	—	—		○
316	H27.12.10	—	—		○
317	H27.12.10	—	—		○
318	H27.12.10	—	—		○
319	H27.12.10	—	—		○
320	H27.12.10	—	—		後日公表
321	H27.12.10	—	—		○
322	H27.12.10	—	—		○
323	H27.12.11	—	—		○
324	H27.12.11	—	—		○
325	H27.12.14	—	—		○
326	H27.12.14	—	—		○
327	H27.12.14	—	—		○
328	H27.12.14	—	—		○
329	H27.12.14	—	—		○
330	H27.12.14	—	—		○
331	H27.12.14	—	—		○
332	H27.12.14	—	—		○
333	H27.12.14	—	—		○
334	H27.12.14	—	—		○
335	H27.12.15	—	—		○
336	H27.12.15	—	—		○
337	H27.12.15	—	—		○
338	H27.12.15	—	—		○
339	H27.12.15	—	—		○
340	H27.12.15	—	—	取下	×
341	H27.12.15	—	—		○
342	H27.12.15	—	—		○
343	H27.12.16	—	—		○
344	H27.12.16	—	—		○
345	H27.12.17	—	—		○
346	H27.12.17	—	—		○
347	H27.12.17	—	—		○
348	H27.12.17	—	—		○
349	H27.12.17	—	—		後日公表
350	H27.12.17	—	—		○
351	H27.12.17	—	—		後日公表
352	H27.12.17	—	—		後日公表
353	H27.12.17	—	—		○
354	H27.12.18	—	—		○
355	H27.12.18	—	—		○
356	H27.12.18	—	—		○
357	H27.12.18	—	—		○
358	H27.12.21	—	—		後日公表
359	H27.12.21	—	—		後日公表
360	H27.12.21	—	—		×
361	H27.12.21	—	—		○
362	H27.12.21	—	—		○
363	H27.12.21	—	—		○
364	H27.12.21	—	—		○
365	H27.12.21	—	—		○
366					
367					

平成27年12月24日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
総務課

県民会議 収支予算(平成 27・28 年度)の考え方について

伊勢志摩サミット三重県民会議の収支予算（平成 27・28 年度）については、県及び関係市町の平成 28 年度当初予算編成の状況をふまえつつ、次のとおりの考え方で調整することが、さる 12 月 18 日の第 3 回役員会で了承されました。

1 収入

(1) 県及び市町の負担金

平成 28 年度の負担金について、県(雇用経済部)の当初予算要求額をもとに、平成 27 年度と同様の考え方(県と 4 市町の比率が 10:1)とすることで調整中。

(2) 寄附金

申込額が現時点ですでに 3 億 8 千万円を超えており、さらに増える見込みであることから、27, 28 両年度あわせて 4 億円を計上する。

2 支出

(1) 平成 27 年度の執行見込み

予備費については、大半を事業の拡充分などに充当しており、今後、国からの新たな要請なども考えられることから、引き続き一定額を確保しておく。

(2) 平成 28 年度の支出予定

- ① 県民会議「事業計画」に基づき事業ごとに積算し、県当初予算案として雇用経済部から要求済みであるが、その後の状況変化により、一部増額修正を行う必要が生じている。
- ② 伊勢志摩サミットを一過性のものとせず、「レガシー」を三重の未来に生かすため、県民会議予算に予備費を計上し、「ポストサミット」関連事業に充てることとする。
- ③ 予備費の充当先である「ポストサミット」関連事業については、県が平成 28 年度当初予算編成作業の中で、別枠分として要求している(サミット推進局以外の)各部局事業の中から選定する。

3 今後のスケジュール

県民会議収支予算（平成 27・28 年度）については、現在、県や市町において調製が進められつつある平成 28 年度当初予算の状況をふまえ、県予算が公表される予定の 2 月上旬をめどに、次回役員会を開催し、決定する。

なお、2 (2) ③の「ポストサミット」関連事業については、県民会議企画運営部会を通じて役員会構成員に選定経過を報告する。

「ポストサミット」関連事業について（案）

平成 27 年 12 月 24 日

戦略企画部企画課

1 「ポストサミット」について

三重県における「ポストサミット」とは、伊勢志摩サミットの「レガシー」を、三重の未来に生かすことです。サミット開催は千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかなければなりません。

<「レガシー」とは>

○一般に「レガシー」は遺産や受け継いだものを意味しますが、ここでは、サミットの開催により地域にもたらされる有形無形の好影響を指しており、現時点で想定される伊勢志摩サミットの「レガシー」を次の3つに整理しています。

①知名度等の向上

- ・ 三重及び伊勢志摩の知名度の向上や評価・関心の高まり
- ・ 県民と海外・世界との距離が縮まること 等

②会議自体の成果

- ・ 宣言、方針、共同声明等や、それらに基づく計画、取組等

③地域の総合力の向上

- ・ 県民や地域の一体感の醸成
- ・ 郷土に対する愛着や誇りの高まり
- ・ 地域に対する理解の深化、地域のネットワークの強化
- ・ おもてなしの力の向上
- ・ アクティブ・シチズンの増加
- ・ 県民力により、世界最高峰の会議を安全・安心に開催するために取り組んだ経験 等

2 「ポストサミット」の基本的な考え方

サミットは、三重の知名度等を高めるチャンスであるばかりでなく、県民の皆さんが郷土に対する愛着や誇りを高めたり、自分が暮らす地域に対する理解を深めたりすることにより、アクティブ・シチズンとして一層活躍する契機ともなります。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれるようになり、それが次世代の希望につながっていくという「正のスパイラル」が生まれ、地域の持続的かつ自立的な活性化が図られます。

そのように、サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を「地方創生のモデル」として持続的に発展させていくことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。

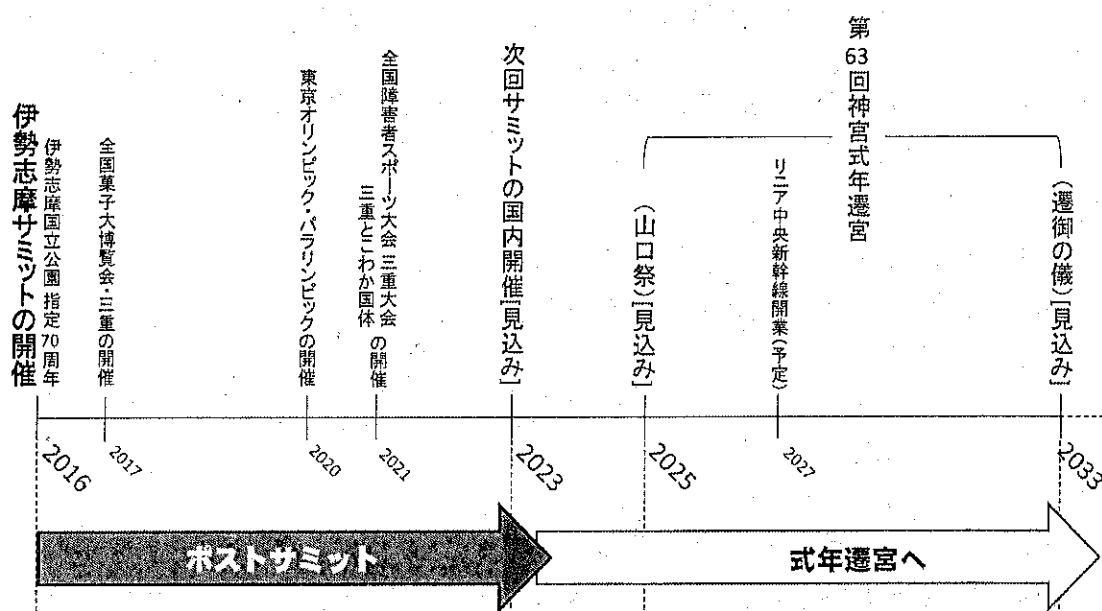
3. 具体的な取組について

○「ポストサミット」の取組の基本的性質は、以下のとおりと考えます。

- ・サミットが開催されるからこそ生まれる（発展する）取組
- ・アクティブ・シチズンとしての県民の行動を促す取組
- ・サミット開催後、一定期間にわたって効果が持続する取組

○「伊勢志摩サミットの開催後、我が国での次のG7サミット開催地が決定するまで」を、本県の「ポストサミット」の期間と捉え、長く効果が持続すると期待される取組を展開します。そして、同じく国内外からの注目を集める「第63回神宮式年遷宮」に向けて、スムーズにバトンを渡していきます。

＜「ポストサミット」の時間軸イメージ＞



○以上の考え方にに基づき、次の3つの観点から事業を構築しました。

①人と事業を呼び込む

（知名度の向上を最大限に生かし、国内外の人々と事業を呼び込む取組）

②成果を発展させる

（サミットそのものの成果を引き継ぎ発展させる取組）

③次世代に継承する

（サミットを通じて高まった地域の総合力を、次世代の育成や地域の魅力向上につなげる取組）

※なお、今回の事業はポストサミット関連事業の一部であり、サミットのテーマ決定や開催結果を踏まえて、引き続きポストサミットの取組を検討していきます。

ポストサミット関連事業

① 人と事業を呼び込む (265,522千円)

MICE (50,899千円)	○世界の次世代を呼び込む国際会議開催事業 (30,000千円) ○海外MICE誘致促進事業 (20,899千円)
インバウンド (127,023千円)	○海外誘客推進プロジェクト事業 (103,572千円) ○地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業 (20,000千円) ○三重県版バリアフリー観光促進事業 (3,451千円)
食の産業振興 (73,613千円)	○みえの農林水産物の魅力総合発信事業 (26,000千円) ○「みえの食」グローバル市場獲得推進事業 (47,613千円)
国際戦略 (13,987千円)	○グローバル創業支援事業 (8,494千円) ○外資系企業ワンストップサービス推進事業 (5,493千円)

② 成果を発展させる (27,491千円)

安全・安心 (1,153千円)	○安全安心まちづくり事業費(犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)策定)
サミットの聖地 (14,847千円)	○みえの農林水産「八百万サミット」開催事業 (12,847千円) ○世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業 (2,000千円)
環境 (11,491千円)	○みえの環境技術移転国際会議開催事業 (11,491千円)

③ 次世代に継承する (2,538千円)

次世代育成 (2,538千円)	○三重県高校生サミット開催事業 (2,538千円)
--------------------	---------------------------

平成27年12月24日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて

1 取組内容

(1) センターの役割

伊勢志摩サミット三重県民会議が公認する宿泊予約センターとして、サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込み、配宿、精算、情報提供などのサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う。

(2) 宿泊予約取扱対象者

各国代表団、報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、医療関係者等

2 宿泊施設確保状況

3月24日から5月29日までを5つの期間に分けて、それぞれの期間に必要なと想定される客室を確保できるよう、伊勢志摩地域の全宿泊施設、及び津・亀山・鈴鹿以南のビジネスホテル（洋室）を主な対象に取り組んできました。

現時点で、最大2万5千人の宿泊を想定するサミット開催前後（5月24日から29日）の期間以外は必要数を確保できており、開催前後の期間については、対象地域を拡げ、必要な客室の確保を進めています。

7月には、宿泊対象と想定される施設に対し、GW明けからサミット開催までの期間の宿泊予約を受付ないよう依頼しましたが、この協力依頼は10月16日に解消しました。また宿泊予約センターによる配宿への協力申し出があった客室についても、使用見込みのない期間・地域の客室については、11月10日以降、順次、各施設への返還を行っています。

4月・5月の伊勢志摩方面への旅行について、「宿が取れないのではないかな」などの風評が一部で有るようですが、GW期間中までは、宿泊予約センターがサミット関係者用に確保している客室もそれほど多くなく、センターの確保分以外は各宿泊施設が通常通りの営業を行っており、GW明けも開催が近づくまでは一般観光客の利用について特別な制限は有りません。

3 事業実施スケジュール（一部予定）

- ・ 12月21日 宿泊予約センターホームページの立ち上げ
- ・ 1月29日 ホームページでの宿泊予約受付開始
宿泊施設に対する配宿計画案の提示
- ・ 2～4月 宿泊施設向け外国人おもてなしセミナーの開催

(案)

平成27年12月 日

各 位

三重県雇用経済部観光局長

伊勢志摩サミット三重県民会議事務総長

伊勢志摩サミット開催に向けての三重県への送客のお願いについて

平素は三重県の観光振興の取組にご理解ご協力を賜わり、心よりお礼申し上げます。

さて、皆さま既にご承知置きのとおり、平成28年5月26・27日に三重県で伊勢志摩サミットが開催されます。現在三重県では、伊勢志摩サミット三重県民会議を中心に、サミット関係者の受け入れに向けた準備を進めており、その一環として宿泊予約センターを設置して必要な宿泊施設の確保にも取り組んでいます。

サミット開催前、4月から5月の三重県内の宿泊施設の状況について、ゴールデンウィーク期間中を始めその前後の時期も、観光客は「宿泊が出来ないのではないか」という心配の声があるとお聞きしていますが、宿泊予約センターが関係者用に確保した施設（客室）以外は通常通りの営業を行いますので、一般客の利用に特別な制限がある訳ではございません。

また、伊勢志摩地域での観光についても、警備上の必要から検問等が実施され、開催が近づくにつれ、賢島近辺を中心に警備が厚くなると想定されることから、移動にあたってご不便をお掛けする可能性はございますが、ご旅行の計画が出来ないということはありません。

三重県としましては、伊勢神宮式年遷宮で培ったおもてなしの心を生かして、地域と連携して、引き続きお客様をお迎えできるよう取組を進めてまいりたいと考えております。

旅行会社の皆さまにおかれましては、三重県への旅行商品の造成を引き続き積極的に行っていただきますようお願い申し上げます。合わせて、販売店の皆様に対しても、伊勢志摩サミット開催に係る上記の旨について周知をいただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

事務担当

三重県雇用経済部観光局観光誘客課

観光情報発信班 高羅、寺

TEL：059-224-2830

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課 森田、稲葉

TEL：059-253-5494

平成 27 年 12 月 24 日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
開催支援課

弁当供給体制の整備について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供することを目的とする。

2 取組内容

(1) 業務内容

弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収

(2) 取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等を想定

(3) 整備する供給体制

①屋外保管を前提とする大規模かつ継続的な弁当需要（以下、「大規模需要」）への対応

②屋内保管を前提とする比較的小規模かつ短期・不定期的な弁当需要（以下、「小規模需要」）への対応

3 大規模需要への対応について

(1) 弁当供給に係る想定

弁当の供給について、現時点での「発注数の推移」「配送先への弁当到着時間」「配送先」の想定は、別添のとおりであり、この想定を満たす体制を整備できるよう、業務実施事業者を選定する。

(2) 事業者選定に係る最重要方針

万全の食品衛生管理体制が確保できることを最重要方針とし、弁当の製造過程において、HACCP及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施するとともに、提供する弁当について、屋外で保管されることを想定し、三重県が定める食品の衛生管理指標の目標値の達成及び異物混入対策として金属探知機での検査を求める。

(3) 検査指導体制

万全の食品衛生管理体制を確保するため、県内の弁当製造施設については、月 2 回程度の監視指導を実施する。

(4) 県内事業者の参画

事業者選定にあたっては、仕様書に、県内弁当製造事業者を一社以上含めることを参加資格にするとともに、配送事業者等についても可能な限り県内事業者を多く参画させるよう規定し、その参画度合を選定の評価基準の一つとすることで、県内事業者の参画を確保している。

【地区割りについて】

弁当の配送場所を、比較的規模の大きな「志摩市」及び規模の小さな「津市・伊勢市・鳥羽市」の2地区に分けて、企画提案コンペを実施することにより、十分な検査指導体制を確保しつつ、県内事業者の活用をより促進することとした。

（５）県産食材の活用

県産米を使用するとともに、その他の県産食材についても、可能な限り使用に努めるよう企画提案コンペの仕様書に規定する。

また、フードイノベーション課と連携して県民会議の方から食材及びメニューの提案を行うことで、企画提案の内容に止めることなく、県産食材の活用促進に努める。

（６）企画提案コンペの審査基準

- ① 業務遂行能力に関する事項
- ② 衛生管理に関する事項
- ③ 食材及びメニューに関する事項
- ④ 環境への配慮に関する事項

（７）弁当受注窓口設置までのスケジュール

平成27年11月30日	企画提案コンペ 公募締切 (提案事業者数 2地区共通で5者)
12月10日	プレゼンテーション・ヒアリング審査 受託候補者決定(2者) ※現在、食品衛生状況を確認するとともに、 業務内容を協議しています。
平成28年 1月	事業者名公表、協定書締結 弁当受注窓口設置

4 小規模需要への対応について

宿泊者の昼食需要への対応など食事の提供に課題のある宿泊施設や、国際メディアセンター内の支援事業者、海上保安庁職員の一部など、屋内保管が可能で、比較的小規模かつ短期・不定期な弁当需要に対しては、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、各地域の商工団体等とも協力しながら、両者のマッチングを促進している。

伊勢志摩サミット弁当供給業務（大規模需要）に係る想定

1 発注数の推移

期間	1日1食の弁当見込数			備考
	朝	昼	夕	
3/24～4/21	300個	900個	300個	
4/22～5/9	2,200個	6,600個	2,200個	
5/10～5/18	3,300個	10,000個	3,300個	
5/19～5/28	5,000個	16,000個	5,000個	

2 配送先への弁当到着時間

朝	午前4時から午前5時
昼	午前9時から午前10時
夜	午後3時から午後4時

3 配送先

市名	箇所数	場所
志摩市	数か所	(未定)
伊勢市	1～数か所	(未定)
鳥羽市	1～数か所	(未定)
津市等	1～数か所	(未定)

<参考>

企画提案コンペでは、「5月26日（木）の配送場所別配送弁当数」を下記のように条件として設定し、企画提案をしていただきました。

【A地区】

市名	配送場所	朝食	昼食	夜食
志摩市	志摩市役所本庁舎	1,000個	4,000個	1,000個
	志摩市役所磯部支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所浜島支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所大王支所	1,000個	3,000個	1,000個
合 計		4,000個	13,000個	4,000個

【B地区】

配送地区	配送場所	朝食	昼食	夜食
伊勢市	伊勢市役所	400個	1,000個	400個
鳥羽市	鳥羽市役所	300個	1,000個	300個
津市等	津市役所	300個	1,000個	300個
合 計		1,000個	3,000個	1,000個

注意：あくまでも企画提案をするための仮定の配送場所・配送弁当数です。

プレス等を活用した情報発信の展開について

1 目的

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透をはかるとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

2 取組方針

- (1) 県・市町の関係部局とも連携を図りながら、メディアの発信先や特性に応じてテーマ設定や訪問先などのコンテンツ選定を行い、三重の誇る食、文化・伝統、自然や産業技術等を効果的に発信できるように努めます。
- (2) 県内各地域の情報が国内外に広く発信できるよう、取材エリアの選定を工夫します。
- (3) 県民会議主催の事業だけでなく、外務省等の国関係機関や県の各部局、市町、各種団体等の行うメディア関連の事業に対し、コースやテーマ等の提案・調整を行い、これらの事業トータルで効果的なメディア発信を行う構成とします。
- (4) コースやテーマ設定の際には、多様な暮らしを営む県民（生産者、経営者、子ども、女性、高齢者等）が、できるだけ取材されるよう努めます。

3 事業の概要

単にプレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催することでプレス等との関係を構築し、より効果的な情報発信に努めます。

(1) プレスツアー、ファムトリップ等

各種プレスツアーやファムトリップ等については、地域性、テーマ性も考慮しつつ県民会議からコース等の積極的な提案を行います。

①県民会議主催プレスツアー（1泊2日）（3回）

②外務省等主催のプレスツアー（8回程度）

③海外メディアやエージェントのファムトリップ（複数回） など

(2) プレスツアーの参加に向けた各種行事

プレスツアーを開催するに当たり、プレス等との関係性を構築しツアーへの参加を呼び掛けるため、11月18日の日本外国特派員協会での知事ブリーフィングなど東京での情報発信を行いました。

4 県民会議主催プレスツアーの選定プロセス

次のプロセスにてプレスツアーの行程を決定していきます。

- (1) 9月に実施した市町からの聞き取りに加え、県民会議が、適宜、シート〔時、委託先と視点調整したもの（例）視点→TPP、高齢者、子育て、環境、技術、防災、ユニークな人等〕を使って市町と情報交換し、直接ヒアリングをしながら様々な情報を集めます。
- (2) 県民会議が市町から収集した情報は委託先（フォーリンプレスセンター）に送付し、県民会議と委託先で複数のテーマを選定します。
- (3) 複数のテーマに基づき該当すると思われる取材候補のさらに詳しい情報を県民会議が市町等から収集します。

在京外国人プレスに注目されるように、関係市町と協議しながら、取材候補のより多くのアピールポイントを整理します。

- (4) 県民会議と委託先で、取材候補を選定し、現地訪問します。
- (5) 委託先との最終調整結果を県民会議が市町と取材候補に連絡し、共有します。このときに出来る限り理由も共有し、今後のインバウンドに生かしていただきます。

5 県民会議主催第1回プレスツアー（別紙1参照）

- (1) タイトル
現代に伝える忍者の文化、特色ある農業ビジネスに挑む経営者たち
- (2) 実施時期
平成27年12月7日から8日まで
- (3) 取材先
「モクモク手づくりファーム」、「伊賀流忍者博物館」、「木の子の里」、「うれし野アグリ」「アグリー農園」

6 今後のプレスツアー（別紙2参照）

外務省等主催のプレスツアーについては、関係機関と調整しながら、県内の行程について、引き続き、県民会議から積極的に提案を行います。また、県民会議主催プレスツアーは外務省他主催のプレスツアー受入れ状況を勘案しながら、三重県全域の発信につながるよう開催地等を調整しながら実施します。県民会議主催の第2回プレスツアーについては、平成28年2月頃に東紀州方面での実施に向け関係部局と調整を進めていきます。

また、第3回プレスツアーは平成28年4月頃、中南勢方面を中心としたエリアで検討しています。

以 上

第1回伊勢志摩サミット三重県民会議主催海外プレスツアーの概要について

1. ツアーの概要

伊勢志摩サミット三重県民会議では、公益財団法人フォーリンプレスセンターに委託して、伊賀エリアを中心としたPTを実施したところ、5カ国のプレス11名(中国4名、韓国4名、ロシア1名、米国1名、ドイツ1名、メディア別ではTV5名、新聞5名、通信社1名)に参加いただきました。

2. 日程：2015年12月7日(月)、8日(火)

○モクモク手作りファーム

設立時に大手スーパーをターゲットにし、価格の壁に阻まれたという苦労話や非常を演出する事業戦略を見出すまでの過程の説明を聞いた。記者からは今後の展開や現状の売上・収益について質問を行っていた。TVクルーは体験教室(ウィンナー、豚まん)の参加者の様子も撮影していた。

○伊賀流忍者博物館

忍者博物館の歴史を聞いた後、「忍者とは」について三重大学山田教授から講義を受けた。忍術は知識の集合体であるというところに興味を示していた。続いて三重大学久松名誉教授から「忍者と食」について講義を受けた。記者から「忍術」はサミットの警備に生かせるのかとの質問があった。

続いて、阿修羅と最後の忍者といわれている川上仁一先生の直弟子の清本氏の実演があり、じっくり見入っていた。

○アグリー農園

一主婦が食の安全・安心を求めて5年前に起業した時の苦労話を聞いた後、障がい者との出会いと農福連携のビジネスモデルを作るまでの経緯について説明を受けた。記者は、目の不自由な人が播種作業をする姿を熱心に取材していた。

○木の子の里

高齢者を元気にすることを目的に、試行錯誤でシメジづくりを始めた頃の苦労話や今後の展開について話を聞いた。記者から販売量や販売先や評判について質問があった。菌床を育てている現場では、育成プロセスを熱心に取材していた。

○うれし野アグリ

農業で日本の未来を変えたい3社が結集し、ミニトマトでは、国内最大かつ最高効率の生産を行う仕組みについて、熱心に耳を傾けていた。記者からは今後の方針や海外への販売実績や売上について質問があった。現場では、最新鋭の生産システムを熱心に取材していた。

○知事インタビュー

知事からの自己紹介ののち、取材先を踏まえ、6次産業化や農福連携についての考えについて質問があった。TPPの影響と対策等活発な質問が続いた。

○総括

特に農業は、どの取材訪問先も特色があり、記事を書きたいとコメントを複数人の記者からもらった。また、夕食は抜群においしかったと全員から評価いただいた。

3. 三重の食の発信

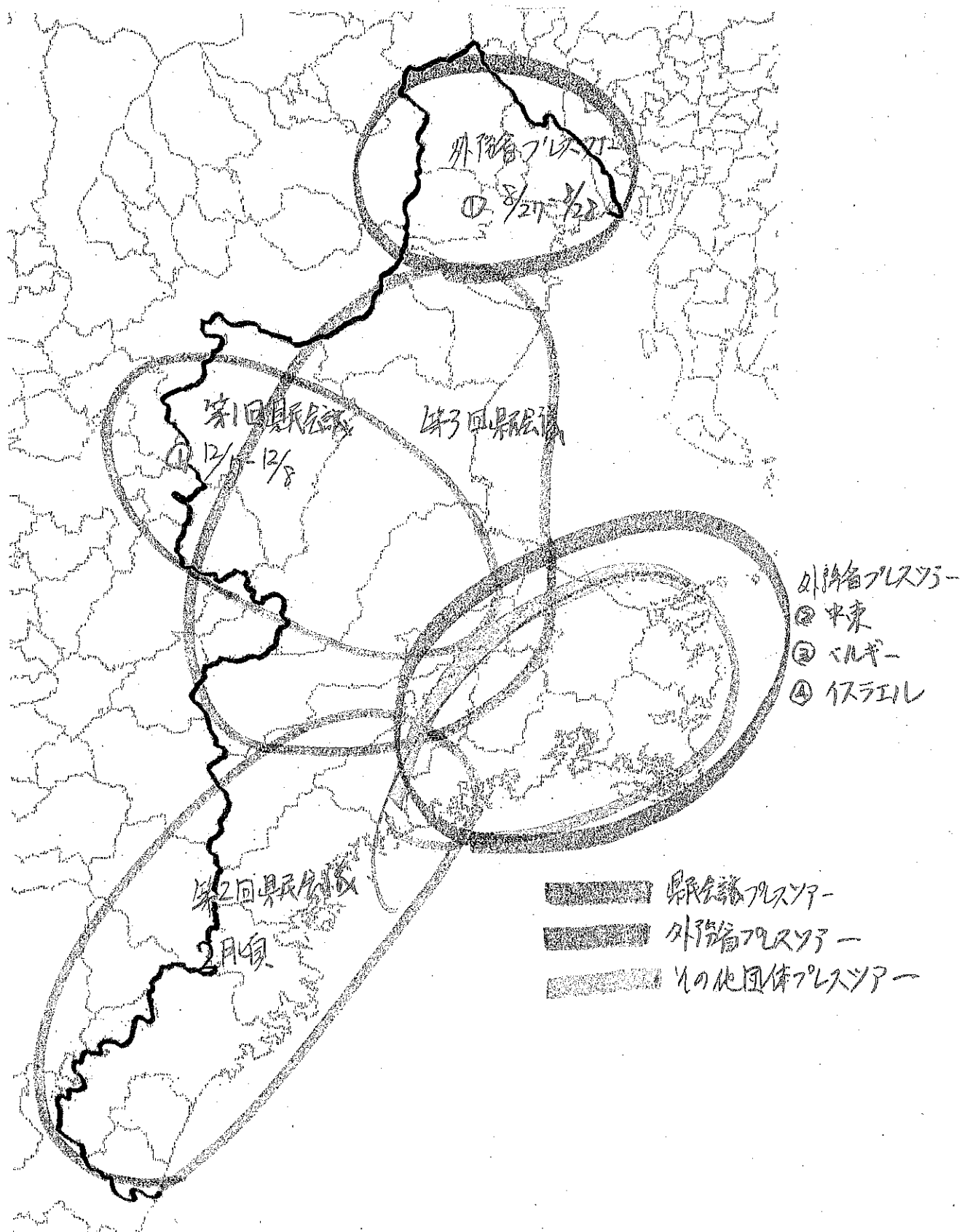
○交流会（山水園）（夕食）

伊賀・名張の食材と取材先で訪問先した企業の食材をふんだんに使った伊賀尽くしの料理は、大変好評であった。取材先エリアの物産やポスターも交流会会場に展示され、熱心に見入っていた。

○焼肉レストラン「奥田」（昼食）

伊賀牛の希少部位の焼肉に舌鼓を打っていた。ジューシーな肉にみな大変満足していた。

海外プレスツアー展開イメージ（案）



平成27年12月24日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

住民懇話会の実施について

1 第1回の開催結果

地区	伊勢市	鳥羽市	志摩市	南伊勢町
日付	12月10日(木)	11月28日(土)	11月28日(土)	11月20日(金)
時間	19:00~20:00	11:00~12:00	15:00~16:00	19:00~20:00
場所	ハートプラザみその多目的ホール	鳥羽市民文化会館 大会議室	志摩市役所 4階会議室	南伊勢町役場 南勢庁舎3階大会議室
対象	伊勢市内全自治会長 (全175自治会)	鳥羽市内全自治会長 (全47自治会)	志摩市内全自治会長 (全49自治会)	南伊勢町内全区長 (全38区)
参加	85自治会(49%)	36自治会(76%)	38自治会(77%)	32区(84%)

2 内容

(1) 三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局

伊勢志摩サミットの概要及び伊勢志摩サミット推進局
(伊勢志摩サミット三重県民会議)の事業取組について
説明を行った。



(2) 三重県警察

現在、警備計画を策定中であり、早い段階で住民への情報提供をしていきたい旨説明があった。

また、不審者(物)を発見したら警察へ通報いただきたい旨協力依頼があった。

(3) 第四管区海上保安本部

英虞湾を中心に海域の利用状況を調査中であり、今後、地域の実情に応じた適切な警備方針、警備計画を立てていきたい旨説明があった。

(4) その他(4市町から)

市町の取組についての説明及び自治会に対して取組への協力依頼があった。

3 質疑応答

主に住民生活への影響を心配する質問と住民への情報提供について意見が出された。

具体的には、警備や交通規制による通勤通学、離島航路への影響、真珠・のり養殖業等への影響を心配する質問、今後の住民懇話会の開催方法の要望、行政広報紙などでのきめ細かい情報提供を要望する意見が出された。

4 今後の方針

- ・ 関係4市町において、平成28年2月頃に第2回、平成28年4月下旬から5月上旬にかけて第3回を実施する予定である。
- ・ 対象は、地域住民に限定せず、幅広い分野の方々に広く参加を呼び掛けたい。
- ・ 開催回数や場所については、警備関係機関や市町と調整の上、柔軟に対応したい。
- ・ 業界・団体については、会議等の場所に足を運ぶなどして、業種に応じた丁寧な説明に努めたい。

平成27年12月24日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
事業推進課**伊勢志摩サミット開催150日前イベントについて**

12月28日（月）は、伊勢志摩サミット開催までちょうど150日前となります。
伊勢志摩サミット三重県民会議では、節目である12月28日を中心とする150日前ウィークにおいて、首都圏をはじめ、全国的な話題性の向上を図るとともに、県外の皆様にサミット開催に興味を持っていただくため、「三重テラス」でのイベントの開催やカウントダウンボードの県外設置などを実施します。

1 三重テラスでのイベント

首都圏の方に伊勢志摩サミットについて知っていただくため、三重テラスにおいて、一般の方々を対象に、三重県の食を体感いただくイベントと、サミットトークセッションを開催します。

(1) 「三重県の誇り！食を欲張り体感！」

- ①日時 平成27年12月27日（日）13時～16時
- ②場所 三重テラス 2F スペース（東京都中央区日本橋室町2-4-1）
- ③内容
 - 1.大口秀和志摩市長による伊勢まぐろ解体ショー&試食
 - 2.松阪牛の試食（松阪肉牛共進会優秀賞一席のサミット価格の牛）
 - 3.三重いちご・マルゴみかんの試食・販売
 - 4.伊勢茶の試飲・販売
 - 5.その他（鳥羽市産あらめ巻、伊勢市産蓮台寺柿干し柿の試食等）
 - 6.赤福による物販。通常箱300箱＋2個入り200箱。（箱数は予定）
 - 7.ミス・ユニバース三重、矢田百恵さんに協賛事業として食材のふるまいにご協力していただきます。

※参加無料

(2) 「伊勢志摩サミット開催150日前記念トークセッション」

- ①日 時 平成27年12月28日（月）13時～14時（開場12時）
- ②場 所 同上
- ③出席者 堀口 文宏氏（みえの国観光大使）
溝渕 将史氏（外務省大臣官房伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局総括次長）
鈴木 英敬（伊勢志摩サミット三重県民会議会長（三重県知事））
司会 大西 敬子氏（タレント、三重いちごプロモーションキャラクター）
- ④内容 テーマ「伊勢志摩サミットとは何か、サミット開催で三重県はどう変わる」
※参加無料、事前申込必要（先着60名）
※来場者には、三重県育種品種の「かおり野」いちごを2パック、伊勢のバラ「サムライ08」を3本プレゼント。

2 カウントダウンボードの県外設置

200日前ウィークにて総計361台設置したカウントダウンボードについて、さらに県外設置を進め、東海地区、首都圏を中心とした全国発信へつなげます。新たに50台を各地に設

置し、200日前ウィーク以降に応援事業で設置していただいた106台に加えて、総計517台となります。

(1) 県民会議による設置【計5台】

- ・外務省（1台）※三重県森林組合連合会による協賛
- ・鉄道駅構内（近鉄：3台（難波駅、京都駅、名古屋駅））
- ・伊勢市役所（1台）※伊勢市から県立伊勢工業高等学校に製作を依頼

(2) 企業等による応援事業として新たに設置【計45台】

三重交通グループ40台（各バスターミナル出札所等）、中日本高速道路㈱4台（東名阪自動車道御在所SA上下線・伊勢湾岸自動車道長島PA上下線）、㈱津松菱1台を設置いただく予定です。

(3) 開催200日前以降、企業等の応援事業として既に設置【計106台】

㈱第三銀行41台、JAグループ三重61台、三重テレビ放送㈱2台、紀北町観光協会1台、㈱サン・シャイン1台

3 県内市町、各県庁舎での懸垂幕・横断幕の設置

(1) 設置日 平成27年12月28日（月）

※ 当日の天候等により、設置日が個別に変更となる場合があります

(2) 設置期間 設置日から平成28年5月27日まで

(3) 場所 各県庁舎、各市町庁舎 合計40か所

(4) 内容

伊勢志摩サミット開催150日前を契機に、県内市町、各県庁舎へ懸垂幕・横断幕を掲出し、より一層伊勢志摩サミット開催機運の醸成を図ります。

4 公式ポスター第3弾発表

公募の上、12月18日（金）に発表した第3弾ポスターを、開催150日前を機に、順次掲出を開始します。

5 第2回伊勢志摩サミットフォーラム

来年5月に開催する伊勢志摩サミットに向けて、開催機運を醸成するとともに、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」などについて県民の皆さんと考えるため、第2回伊勢志摩サミットフォーラムを開催します。

(1) 日時 平成28年1月16日（土）13時～15時45分

(2) 場所 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂（鈴鹿市南玉垣町 3500-3）

(3) 内容

①講演

「伊勢志摩サミットのレガシー（遺産）を生み出す“おもてなし”戦略とは」

講師：中村好明氏（ドン・キホーテグループ ㈱JIS 代表取締役社長）

1963年、佐賀県生まれ。上智大学出身。株式会社ドン・キホーテ社長室ゼネラルマネージャー兼インバウンドプロジェクトの責任者。2013年7月、株式会社ジャパン インバウンド ソリューションズを設立し、代表に就任。国・自治体・民間企業のインバウンド分野におけるコンサル業務、教育研修事業、プロモーション連携事業に従事。著書に『ドン・キホーテ流 観光立国への挑戦』、『インバ

『ウインド戦略』、『接客現場の英会話 もうかるイングリッシュ』、『観光立国革命』がある。

②トークセッション

テーマ：「おもてなし、食を中心とした情報発信、サミットのレガシー（遺産）」

スピーカー：山田文比古氏（東京外国語大学教授）

ラース・ニコライゼン氏（ドイツ通信社東京支局長）

清水慎一郎氏（清水清三郎商店株式会社代表取締役）

森川徹氏（外務省大臣官房報道課長※本県鈴鹿市出身）

中村好明氏（株式会社 J I S 代表取締役社長）

コーディネーター：鈴木英敬（伊勢志摩サミット三重県民会議会長（三重県知事））

6 市町・県と連携した広報

市町や県各部局が主催するイベント等でポスターやのぼり等を掲示することによりサミットのPRを行っています。

■市町イベント（ポスター・のぼり掲示等）

年月日	行事名	場所	担当
H27. 12. 13（～ 2月頃まで）	イルミネーションライトアップ	五ヶ所児童公園	南伊勢町総務課
H27. 12. 19-28	三重紀北町年末きいながしま 港市	紀北町長島港内特 設会場	年末きいながしま 港 市実行委員会
H27. 12. 19	北勢線サンタ電車	三岐鉄道北勢線電 車車内および西桑 名駅ホーム	桑名市都市整備課
H27. 12. 19	すわ公園から光の贈りもの・イ ルミカフェ	すわ公園交流館	四日市市商業勤労課
H27. 12. 20	1000000 人のキャンドルナイト in すわ公園	諏訪公園	四日市市商業勤労課
H27. 12. 20	第10回タキスポ ジョギング&マラ ソン大会	天啓公園	多気町スポーツ協会
H27. 12. 20	松阪市子ども・子育てフォーラム松 阪～	農業屋コミュニティ文 化センター	松阪市福祉事務所 こども未来課
H27. 12. 23-27	御食つ国・志摩 年末海族市	志摩市大王町 「波切漁港」	「御食つ国・志摩」 年末海族市実行委員会
H27. 12. 27	第6回おいしいまち南伊勢町歳 末物産市	南伊勢町町民文化 会館～役場の路上	南伊勢町観光商工課
H28. 12. 28. ～	伊勢志摩サミット開催150日 前企画「伊勢志摩サミットを世 界に発信」	サクララウンジ（中 部国際空港旅客タ ーミナルビル2階 国際線制限エリア）	農林水産部フードイノ ベーション課

■県各部局イベント（ポスター・のぼり掲示等）

年月日	行事名	場所	担当課
H27. 12. 13	三重の魚×京野菜の宴（仮称）	京都市むすび食堂	農林水産部水産資源課
H27. 12. 11-24	第 103 回日本列島心のふるさと 観光展	曽根崎地下歩道「み ちまちスクエア」（大 阪市北区梅田）	雇用経済部 関西事務所
H27. 12. 13	伊勢茶～手もみ茶づくりを体験 しよう～	まちライブラリー@ 大阪府立大学	雇用経済部 関西事務所
H27. 12. 19	第 3 回 COOL MIE トークライブ 2015	三重テラス	雇用経済部三重県営業 本部担当課
H27. 12. 14-26	第 27 回姫路グランフェスタ観光 展	J R 姫路駅前地下街 グランフェスタ 6 番 街	雇用経済部 関西事務所
H27. 12. 19-20	平成 27 年度三重県障がい者芸 術文化祭	伊勢市生涯学習セン ターいせトピア	健康福祉部 障がい福祉課
H27. 12. 20	「宮城県×広島県×三重県」 牡蠣競演イベント	東京交通会館 1F ピロティ	農林水産部 水産資源課
H27. 12. 20	平成 27 年度こどもの事故防止 講演会	三重県医師会館	健康福祉部こども・家 庭局子育て支援課
H27. 12. 22	平成 27 年度三重県栄養改善大 会みえの食フォーラム	三重県総合文化 センター	健康福祉部医療対策局 健康づくり課
H27. 12. 27	夢追人 吉田沙保里大賞 表彰式	津市芸濃総合文化セ ンター	地域連携部スポーツ推 進局スポーツ推進課

※上記に加え、調整中のイベントや節目期間外にサミットPRにご協力いただくイベントも多数あります。

7 応援事業等との連携

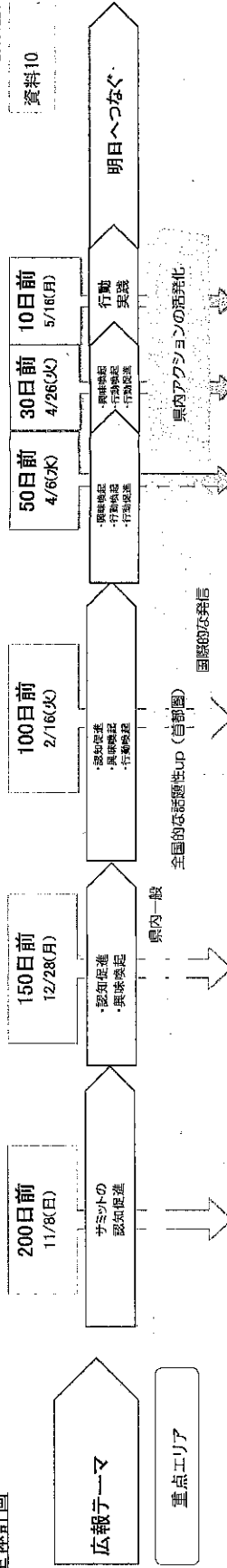
年月日	行事名	場所	主催
H27. 12. 19-28	三重紀北町年末きいながしま 港市での出展（27 日のみ）	紀北町長島港内特 設会場	年末きいながしま港 市実行委員会

※加えて、年末きいながしま港市実行委員会による応援事業として「年末きいながしま港市」で伊勢志摩サミット開催150日前のPRと各ブースでのサミット記念商品の販売を通じ、サミットPRを行っていただきます。

8 関係閣僚会合開催の自治体との相互PR

関係閣僚会合開催の自治体と連携を図り、PRポスターの交換掲出などを順次行い、効果的な全国発信へとつなげるよう調整を行います。

伊勢志摩サミット開催に向けた広報全体計画

[illegible]

平成27年12月24日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
事業推進課

伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について

1 目的

三重県で開催される主要国首脳会議の成功に向け、多くの方に伊勢志摩サミットをPRするための第1弾ポスター、県民会議のシンボルマーク決定を告知する第2弾ポスターを制作したが、今後第3弾から第5弾までのポスターを作成することで、サミット開催への期待感と「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」への県民の意識の醸成を図ることを目的とする。

2 ポスターシリーズの基本構成

開催機運と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする。

第1弾 「起」：サミットが伊勢志摩で開催されることをPRし、期待感を醸成

第2弾 「承」：県民会議の象徴となるシンボルマーク決定告知

★第3・4弾「転」：ポスターの公募

(第3弾) 「おもてなし」をテーマとし、おもてなしの心について県民の皆さんの意識醸成を図る。

(第4弾) 「三重の情報発信」をテーマとし、国際的な発信に注力する時期に三重の魅力を改めて発信する。

第5弾 「結」：「明日へつなぐ」をテーマに、県民のこれまでの活動を振り返りサミット終了が新たなスタートと訴求

3 第3弾ポスターの発表

募集テーマを「サミット開催に向けたおもてなしの心」とし、平成27年10月14日（水）から11月13日（金）まで作品を募集し、選考委員会の審査を踏まえ決定した。

①応募作品数 22件

②発表日 平成27年12月18日（金）

③最優秀賞受賞者 家田幸奈さん（愛知県名古屋市中区・グラフィックデザイナー）

④優秀賞受賞者 奥山知香さん（度会郡玉城町・グラフィックデザイナー）

有村 綾さん（兵庫県神戸市・イラストレーター）

丹羽和乃さん（岐阜県海津市・グラフィックデザイナー）

⑤最優秀賞ポスター 別添のとおり

4 第3弾ポスターに掲載する広告の募集

ポスター下部への社名広告等を前提とした印刷・発送費用をご負担いただく事業者を平成27年12月8日（火）から12月17日（木）まで募集した結果、6件の応募があった。

契約金額が決定次第、ご負担いただく金額を決定し、6件で按分する予定。

①イオングループ ②損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ③株式会社第三銀行 ④株式会社トーエネック ⑤株式会社ナミカワ ⑥株式会社 百五銀行

5 第4弾ポスターの公募

- ・第4弾ポスターは、サミット開催直近での掲出という時期であるため、より高品質なポスターといたしたく、第3弾に引き続き公募形式とする。
- ・ポスターのテーマを「**三重から世界へ（三重の魅力の発信）**」とする。
国際的な発信に注力する時期に三重の魅力を改めて発信するとともに、世界のメディアが注目する訴求力のあるデザインの作品を募集する。
- ・ポスターの印刷や発送については、第3弾ポスター時と同様に、県民会議が実施しその費用を支援いただく事業者を募集する。

①期 間 平成27年12月21日（月）から平成28年2月5日（金）

②対 象 資格は問わない（県外を含む）

③応募点数 1人（1グループ）3点まで（第3弾は1点のみ）

④選考方法

第一次審査 選考委員5名

第二次審査 同上 （4作品を選定）

第三次審査 会長及び上記選考委員 （最優秀賞1作品を決定）

⑤選考委員 5名（第3弾ポスターと同委員）

（座長） 水谷孝次 氏 水谷事務所／MERRY PROJECT 代表・アートディレクター
田端英明 氏 公益社団法人 三重県観光連盟専務理事
江崎貴久 氏 海島遊民くらぶ代表
三田絢子 氏 有限会社伊勢福・広報担当
森本佳菜 氏 三重大学大学院工学研究科建築学専攻博士
前期課程在学中

⑥選考基準

デザイン性、テーマの表現性、誘客性を選考基準とする

⑦表彰

賞金5万円（受賞者が高校生以下の場合は同額の図書カード）

6 第4弾ポスタースケジュール（予定）

12月18日（金） 県民会議総会にて募集要項を発表

12月21日（月） 募集開始

2月5日（金） 募集終了

2月中旬 第一次審査（各委員が推薦作品を報告）

第二次審査（4作品を選定）

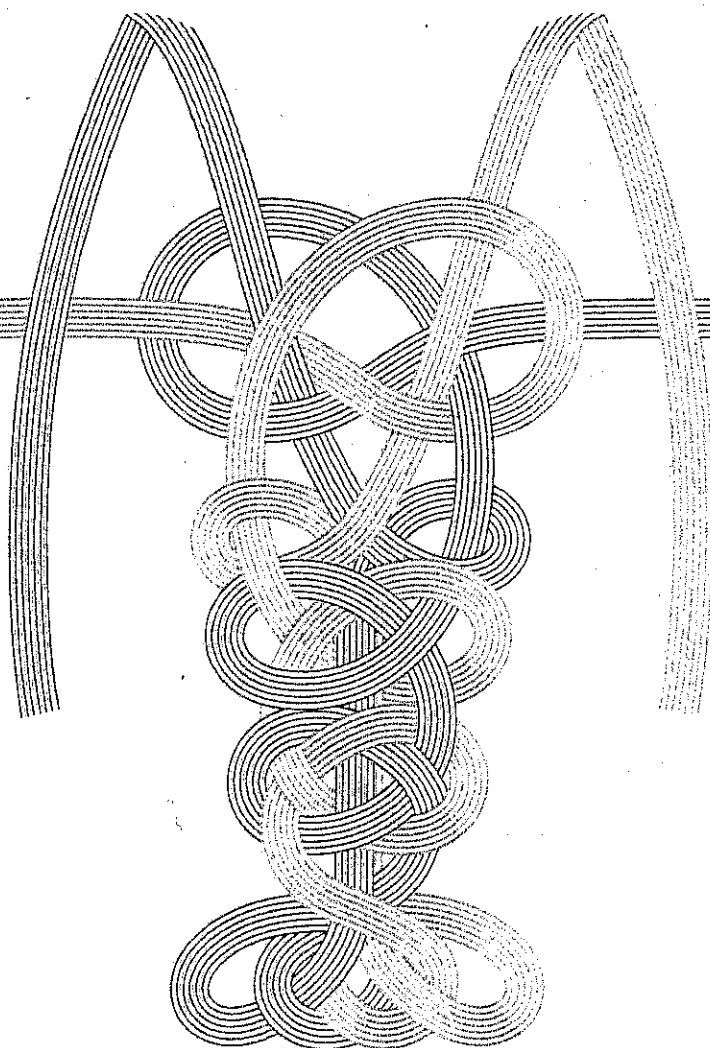
著作権等の確認

3月上旬 第三次審査（選考委員による最優秀賞の決定、会長の承認）

3月中旬 最優秀賞者表彰及び知事記者発表

（第三次審査にて採用とならなかった作品についても
優秀作品として表彰）

4月上旬 第4弾ポスターの配布（開催50日前ウィークを想定）



伊勢志摩サミット

ISE-SHIMA SUMMIT

2016.5.26・27 開催



伊勢志摩サミット三重県民会議

このポスターの印刷は、以下の各社のご協賛をいただいております。(五十音順)

イオングループ / 損保ジャパン日本興亜 / 第三銀行 / トーエネック / ナミカワ / 百五銀行

2015年12月24日

[illegible]

